

文部省實業學務局編纂

工業學校

金工科  
木工科  
自在畫教授要目

目次

- |                 |                                      |
|-----------------|--------------------------------------|
| 第一 自在畫教授要領及注意   | 21 <small>カラハ フクギョー</small> 唐破風懸魚(木) |
| 第二 参考手本         | 22 蓼股(木)                             |
| 1 高臺盃           | 23 鐵製棟飾(木)                           |
| 2 金鉢            | 24 椅子(木)                             |
| 3 唐草模様          | 25 鬼瓦(木)                             |
| 4 蝙蝠傘           | 26 柱頭(きやびたる)(木)                      |
| 5 ごしつく風模様       | 27 燭臺ノ一部(木)                          |
| 6 古代ろーま風模様      | 28 手摺子(木)                            |
| 7 獨逸れねーさんす風模様   | 29 <small>ガッレヨージリ</small> 合掌尻仕口(木)   |
| 8 鐵槌ト釘拔槌        | 30 <small>モチオクリ</small> 持送(木)        |
| 9 戸棚            | 31 住家(木)                             |
| 10 手            | 32 鐵柵(金)                             |
| 11 伊太利風模様       | 33 バチかりばすと直角定規(金)                    |
| 12 花模様          | 34 <small>メキツギ</small> 目釘接手(金)       |
| 13 圓塙ト三角框       | 35 組立梁(金)                            |
| 14 六角塙ト圓錐       | 36 鉤附キ滑車(金)                          |
| 15 花瓶           | 37 蒸汽機關ノツガセ棒(金)                      |
| 16 てーぶる         | 38 止メねるう(すとつねるう)(金)                  |
| 17 電燈用飾腕金       | 39 凹凸ツガリ(金)                          |
| 18 飾模様(るいかとるす式) | 40 <small>チハツルマ</small> 螺旋齒車(金)      |
| 19 りばん飾         |                                      |
| 20 ガラス瓶         |                                      |

發行所

東京 丸善株式會社 大阪



# 工業學校<sup>金工科 木工科</sup>自在畫教授要目

## 緒言

工業教育ノ發達ヲ圖ルハ本邦目下ノ急務ニシテ其施設一ニシテ足ラズト雖、重キヲ教科ノ實施ニ置カザルベカラズ、本省ハ曩ニ東京帝國大學工科大学教授工學博士中村達太郎、東京高等工業學校教授中川謙二郎、東京高等工業學校教授三守守、東京帝國大學工科大学教授工學博士井口在屋、東京高等工業學校教授工學博士中原淳藏ニ囑託シテ工業學校教授要目ヲ調査編纂セシメ、今其一部ナル金工科木工科自在畫教授要目ヲ印行ス、庶幾クハ之ヲシテ適當ナル自在畫教授細目ヲ定ムルノ資料タラシメン。

明治三十六年五月

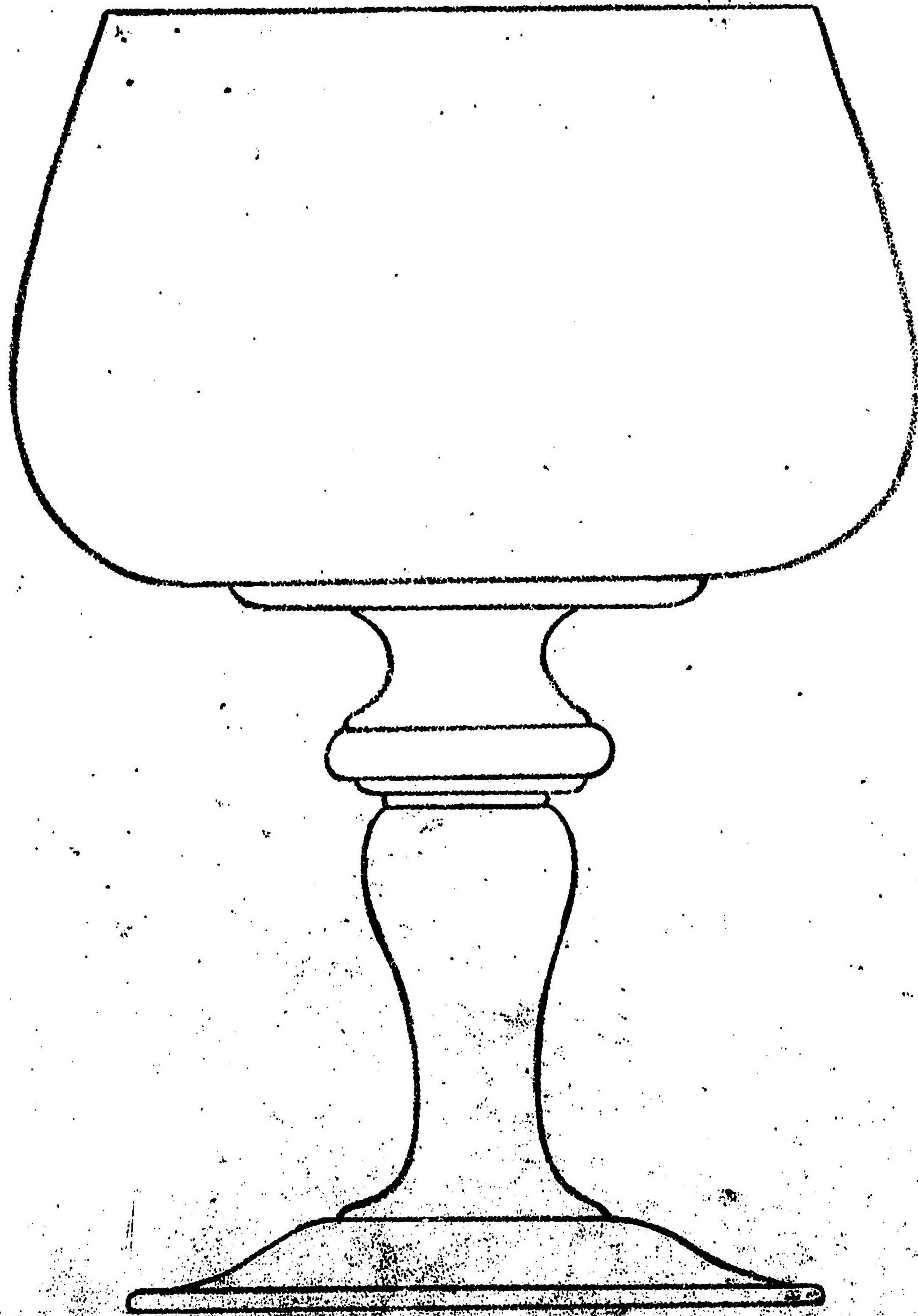
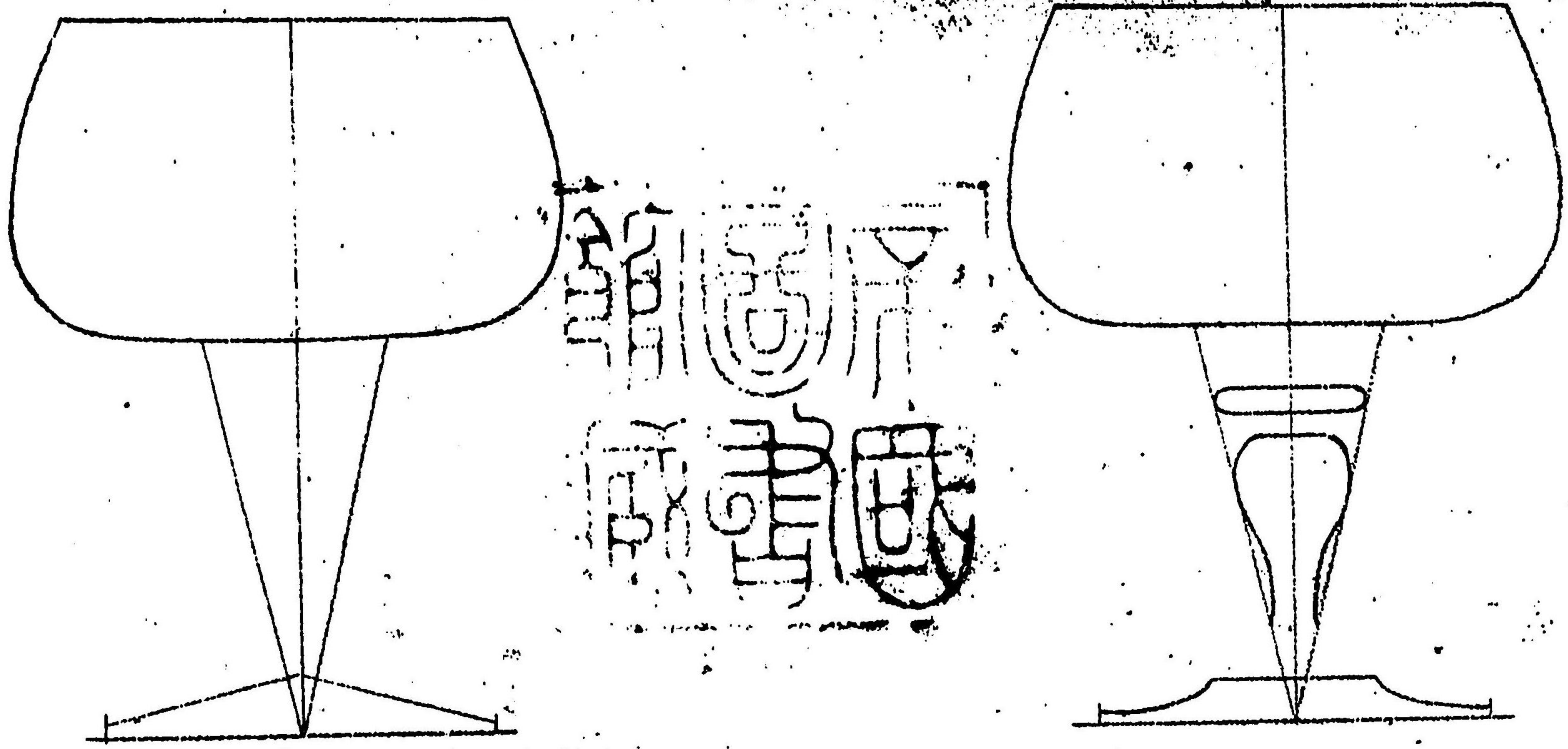
## 文部省實業學務局

## 例言

- 一 本要目ハ工業學校金工科(機械ヲ主トスルモノ)及木工科ノ生徒ニ課スベキ自在畫ヲ目的トシテ編成シタルモノナレドモ、入學程度ヲ高メタル徒弟學校ノ金工科(機械ヲ主トスルモノ)及木工科ノ自在畫教授ニモ之ヲ斟酌シテ適用スルコトヲ得ベシ。
- 二 本要目ハ假ニ工業學校金工科及木工科第一學年ニ於テ每週二時ヲ自在畫ニ充ツルモノトシテ編成セリ。
- 三 參考手本中括弧内ニ「金」ト記シタルハ專ラ金工科ニ、同ジク「木」ト記シタルハ專ラ木工科ニ課スベキコトヲ表ハス。



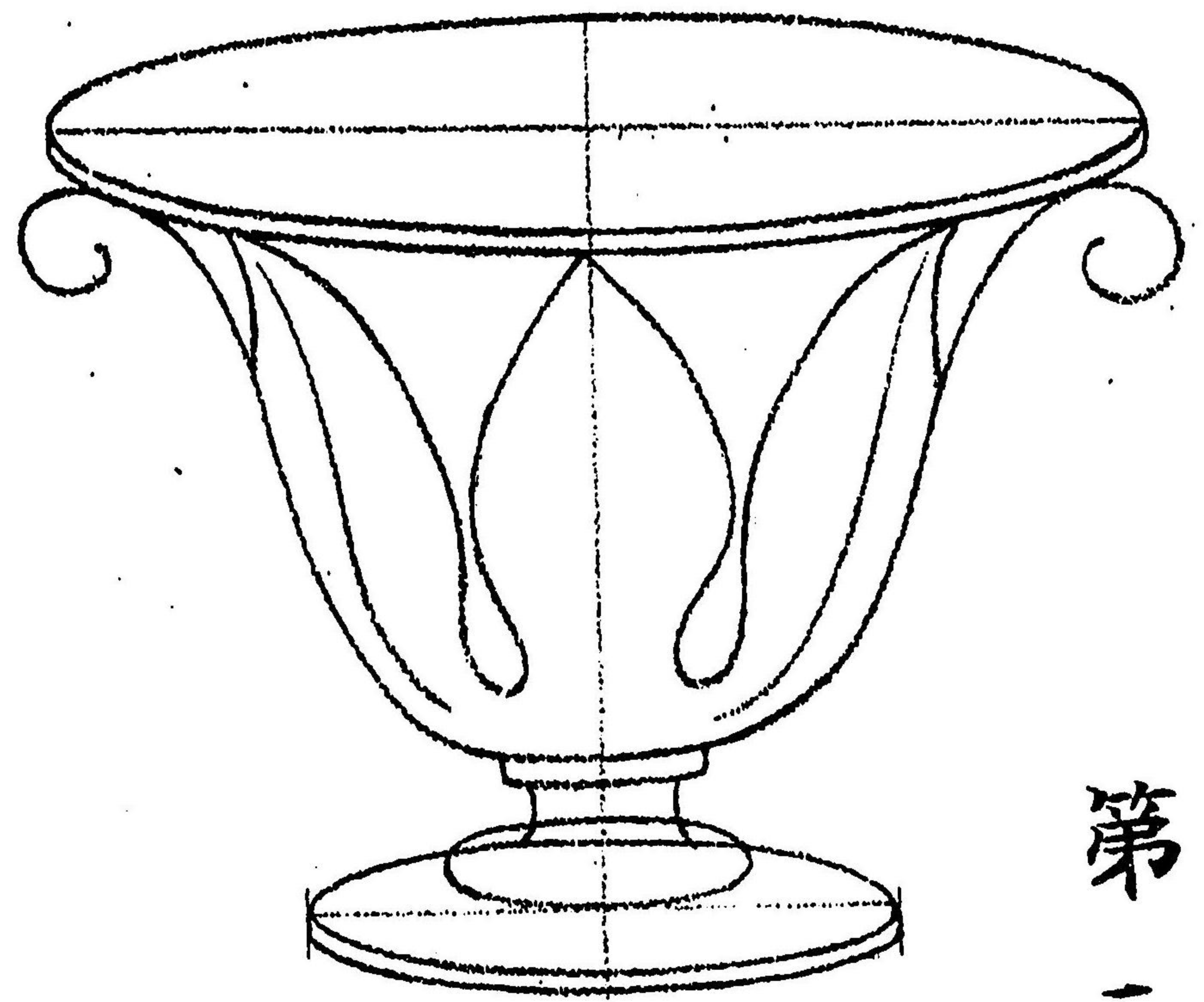
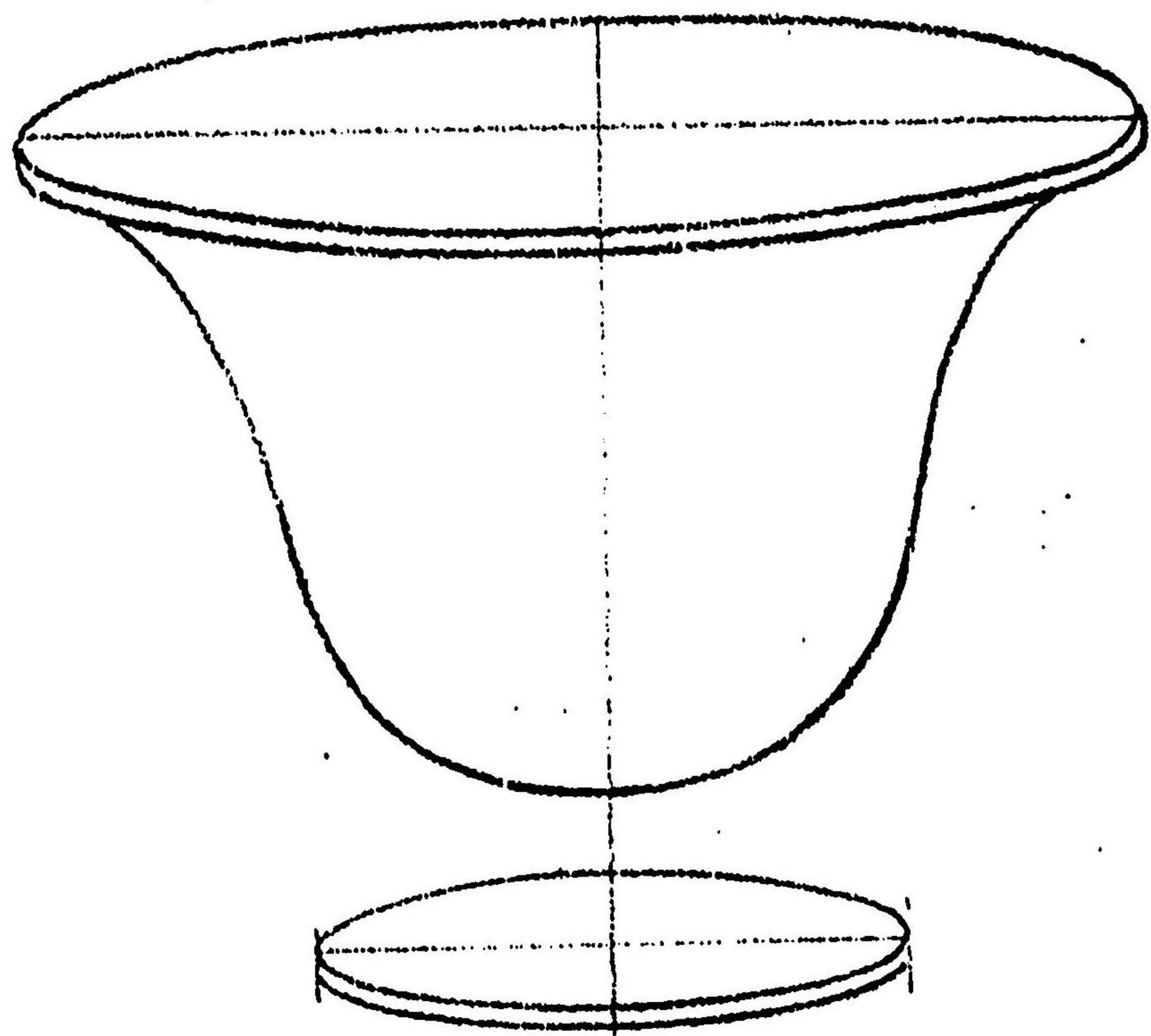
第一高臺盃



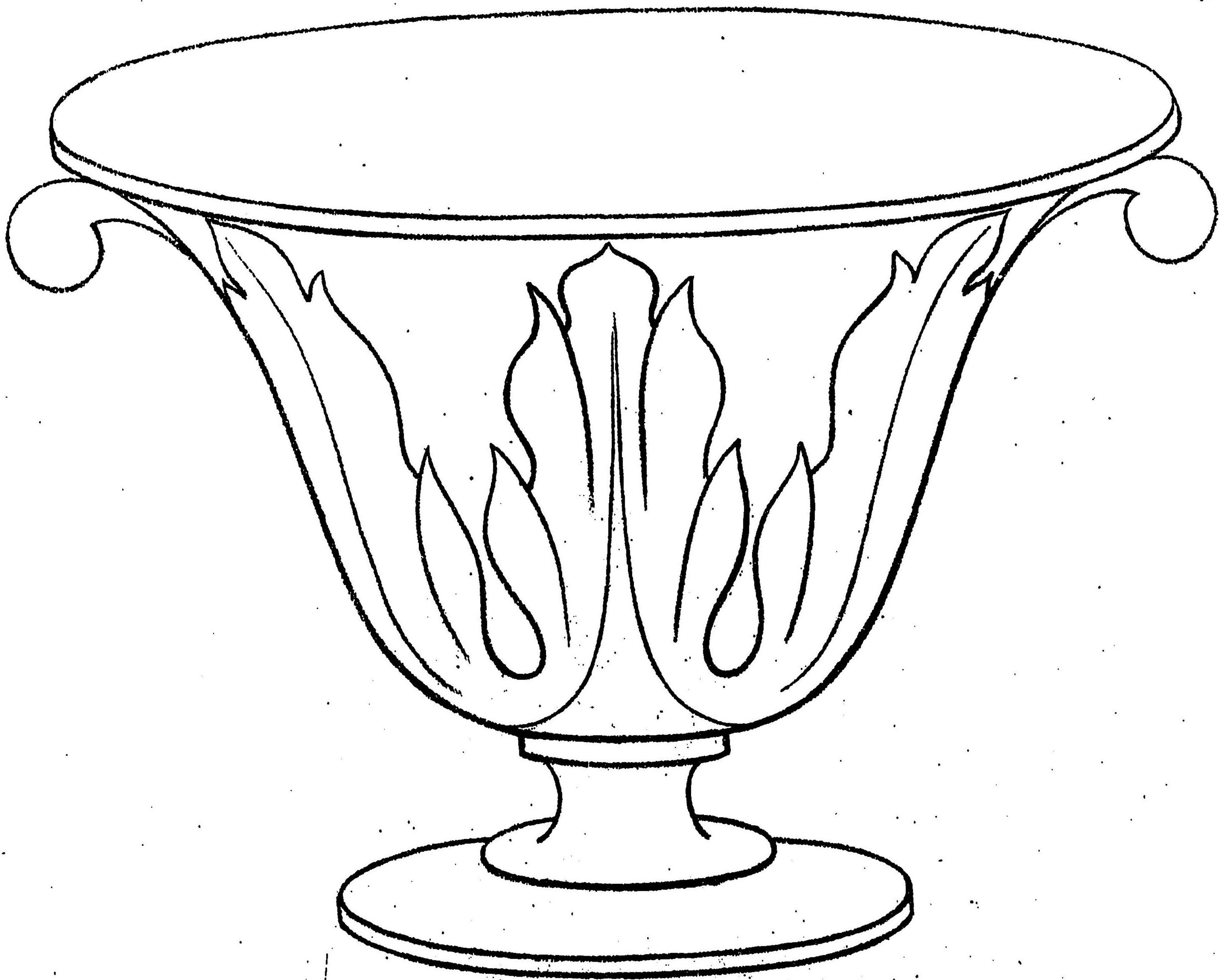
292-23





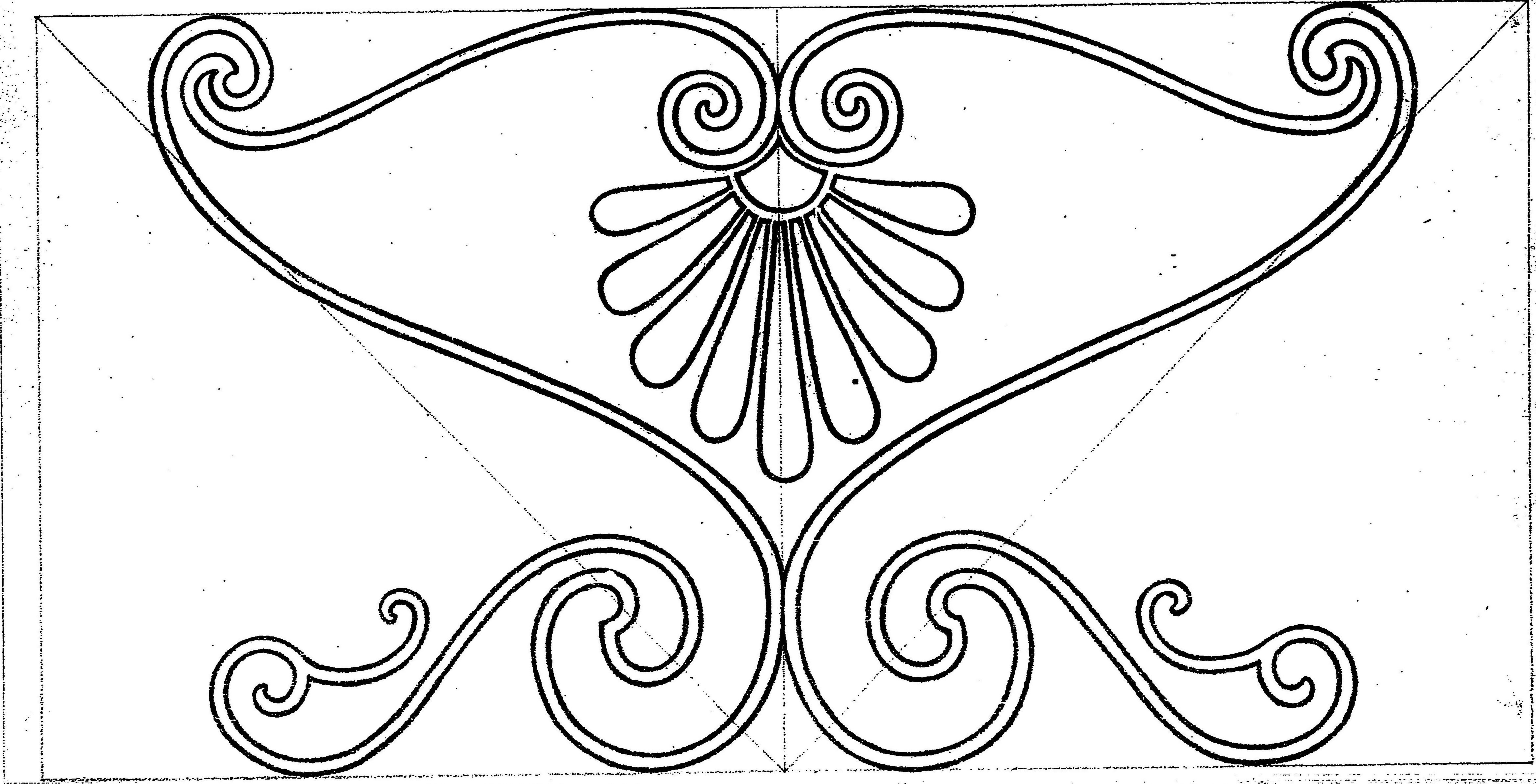
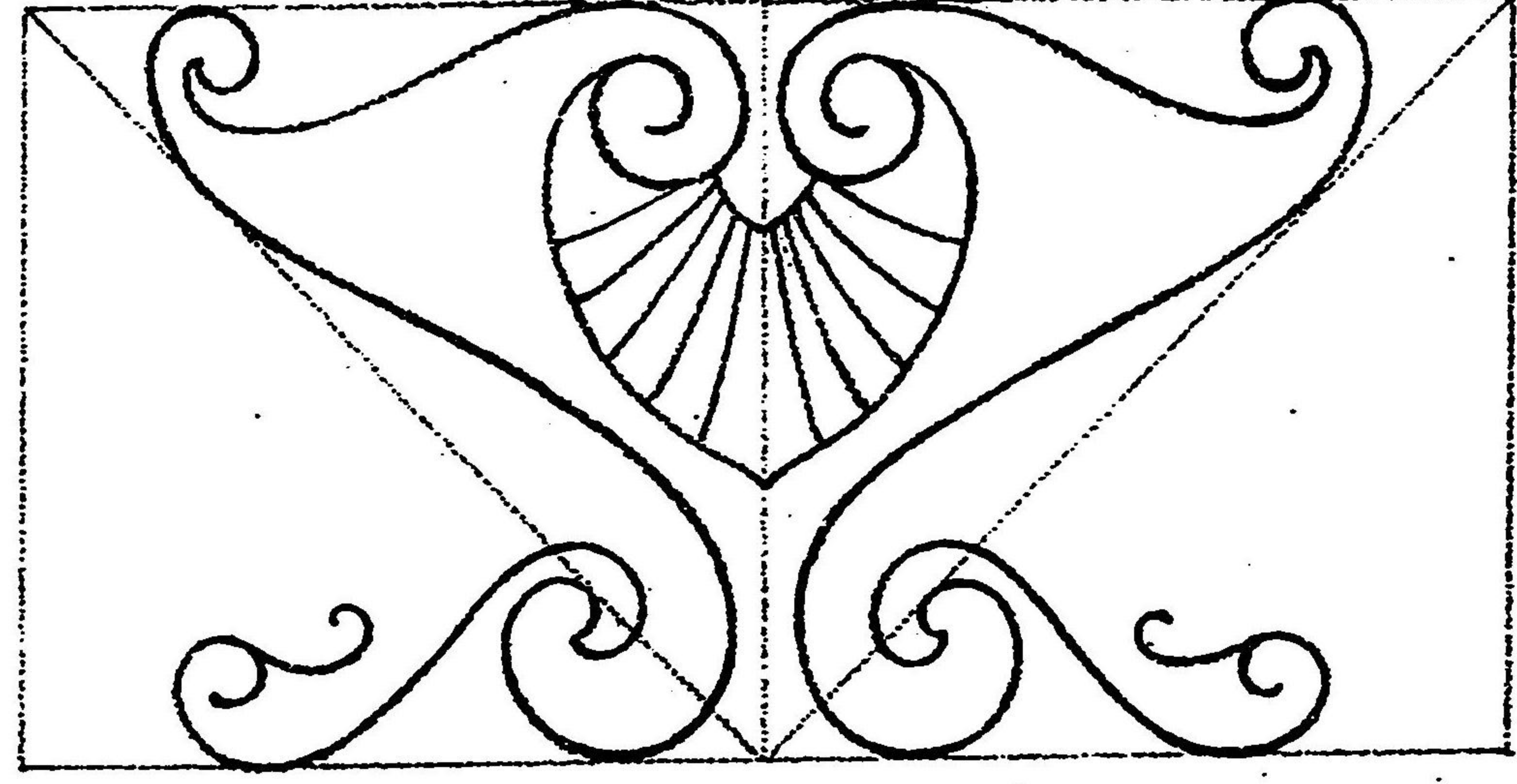
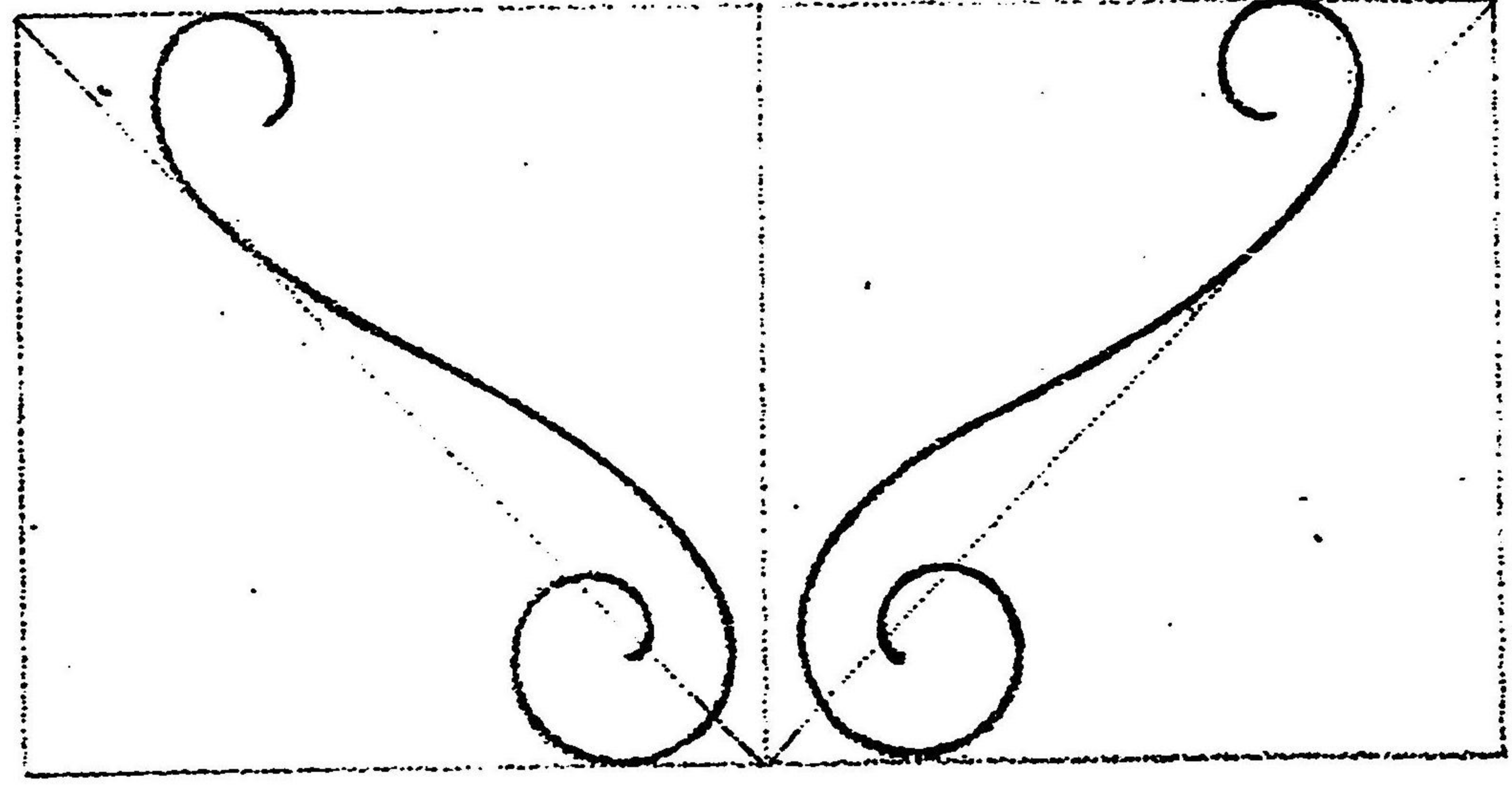


第二  
金カナ  
鉢ハチ



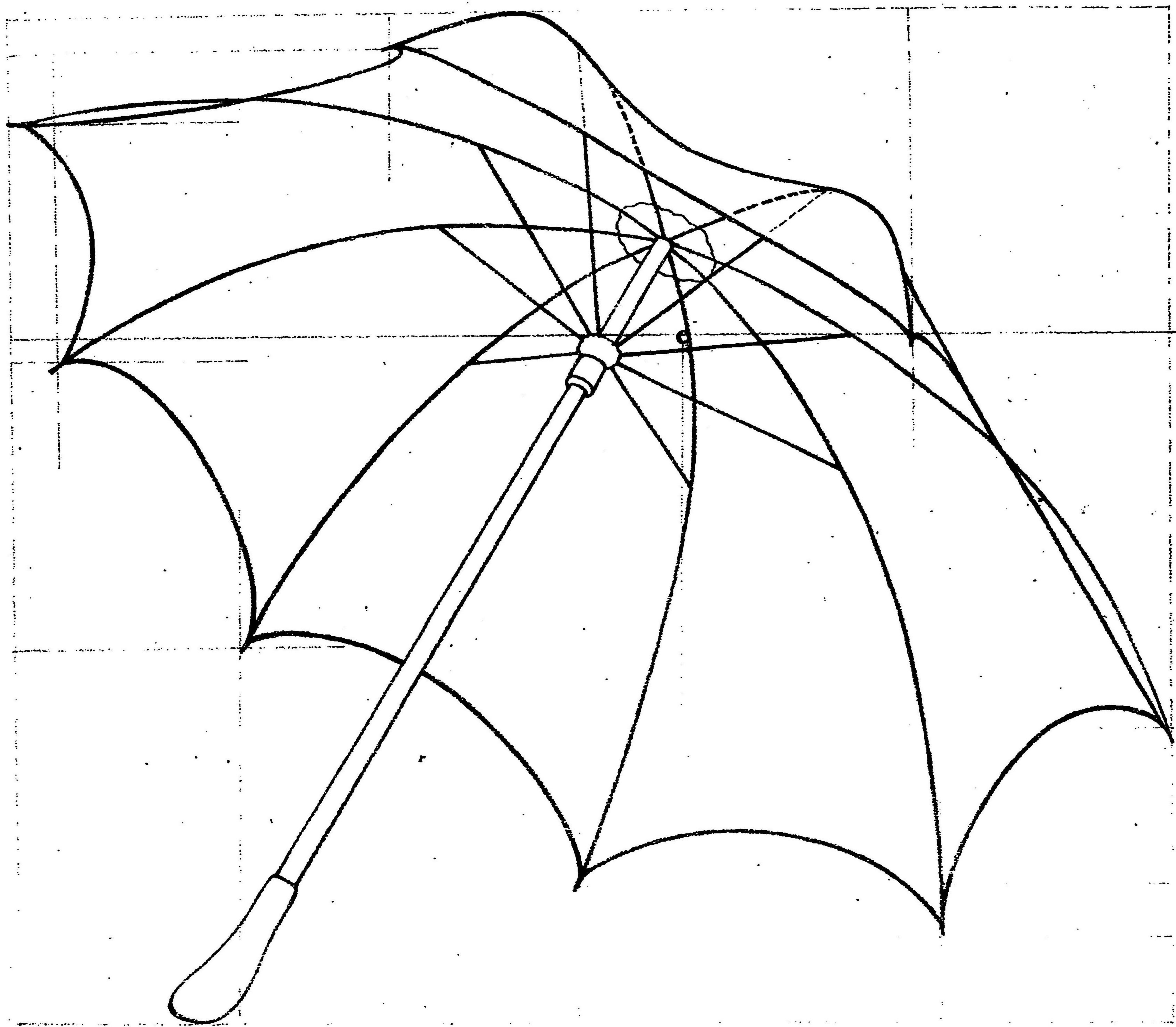


第三  
唐草模様



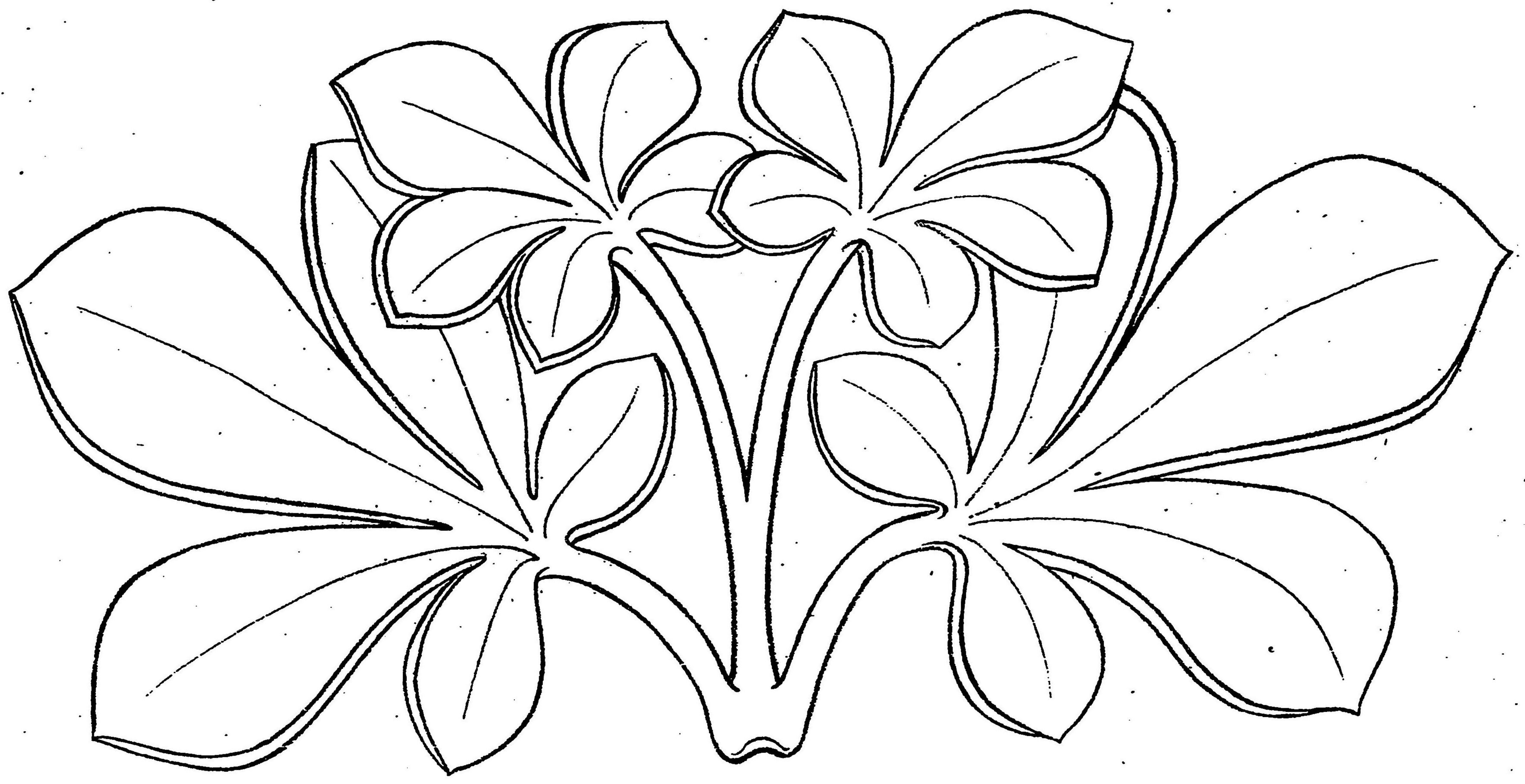


第四 蝙蝠傘





第五 ゴシツク風模様





第六 古代ローマ風模様



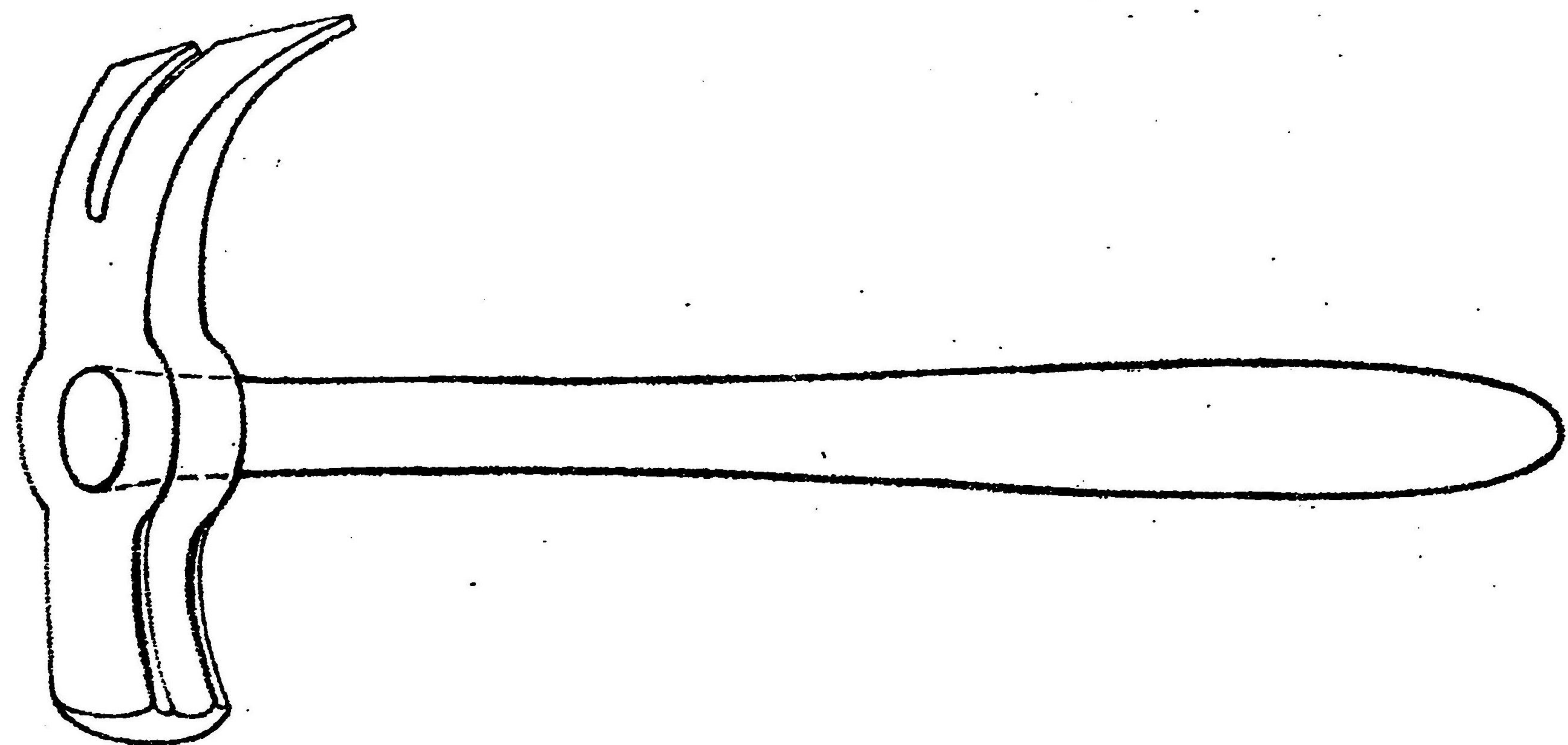
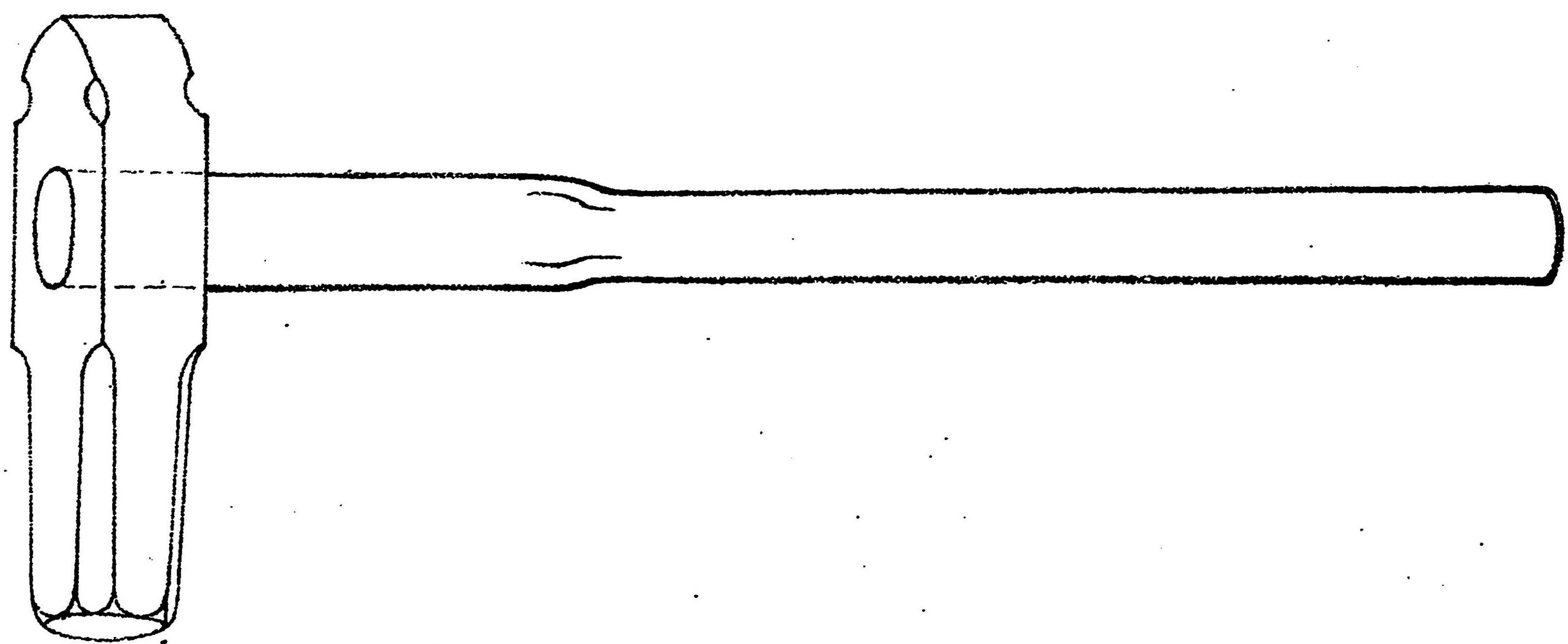


第七獨逸札一さん風模様



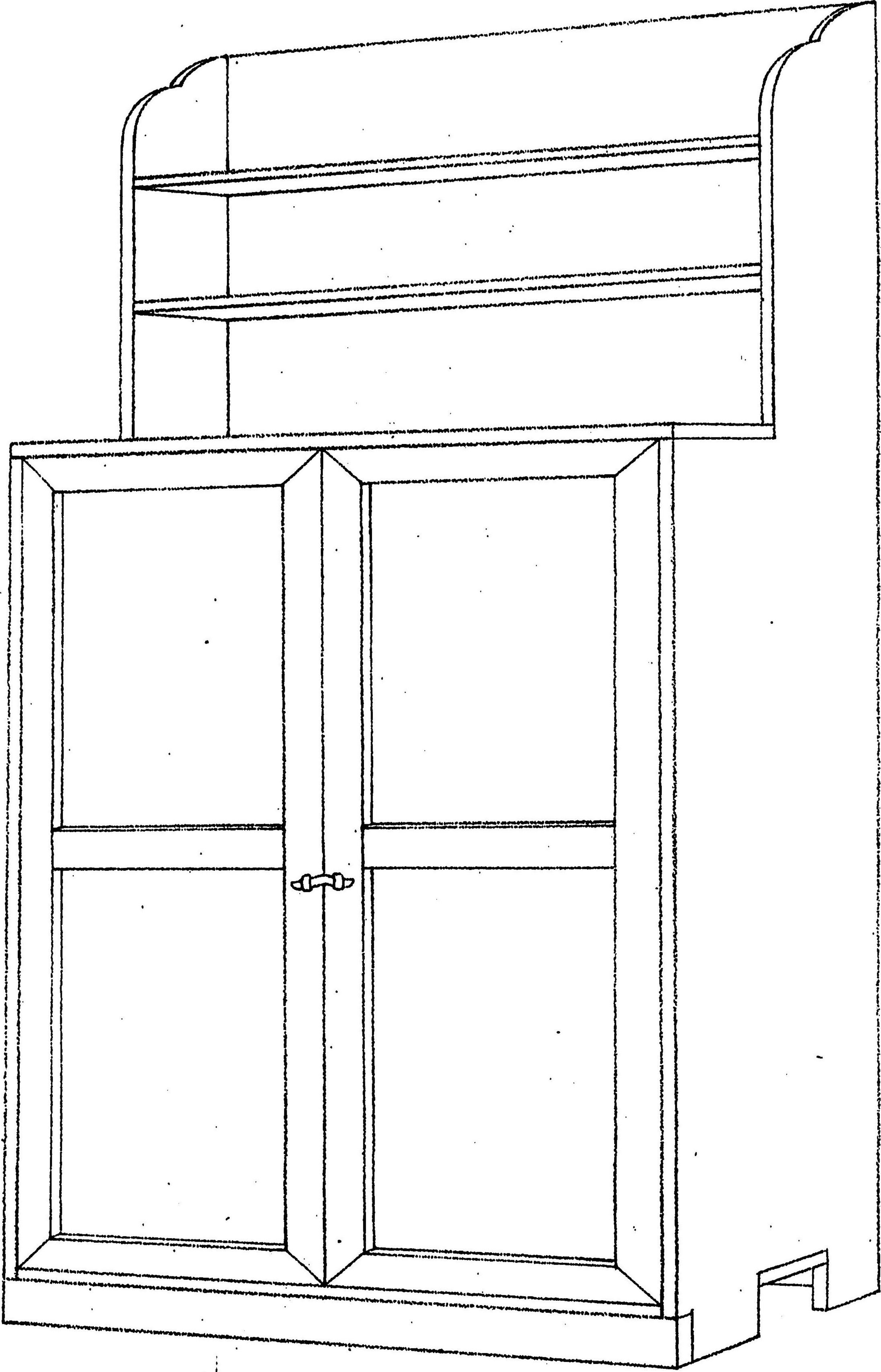


第八 鐵槌卜釘拔槌



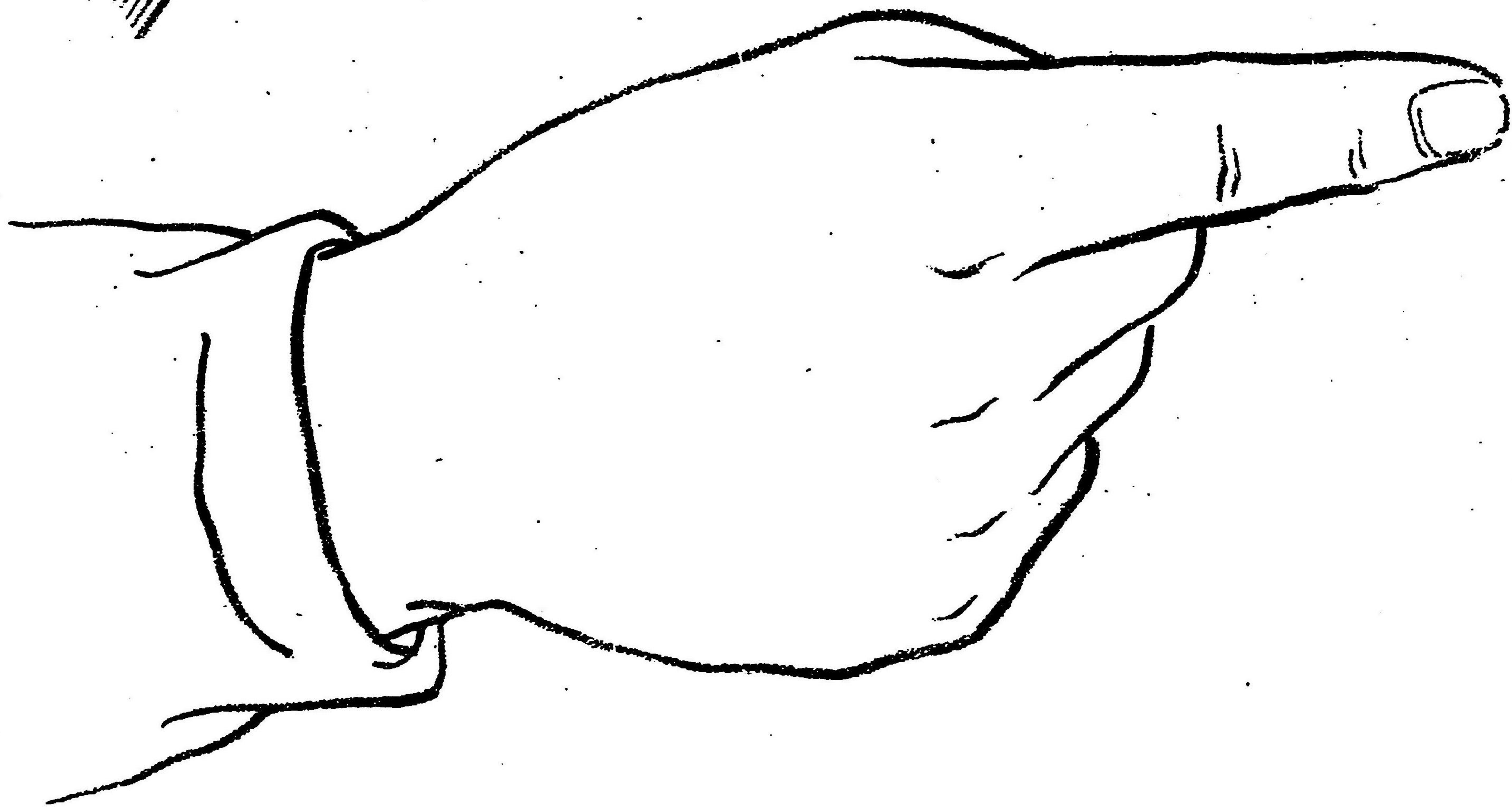
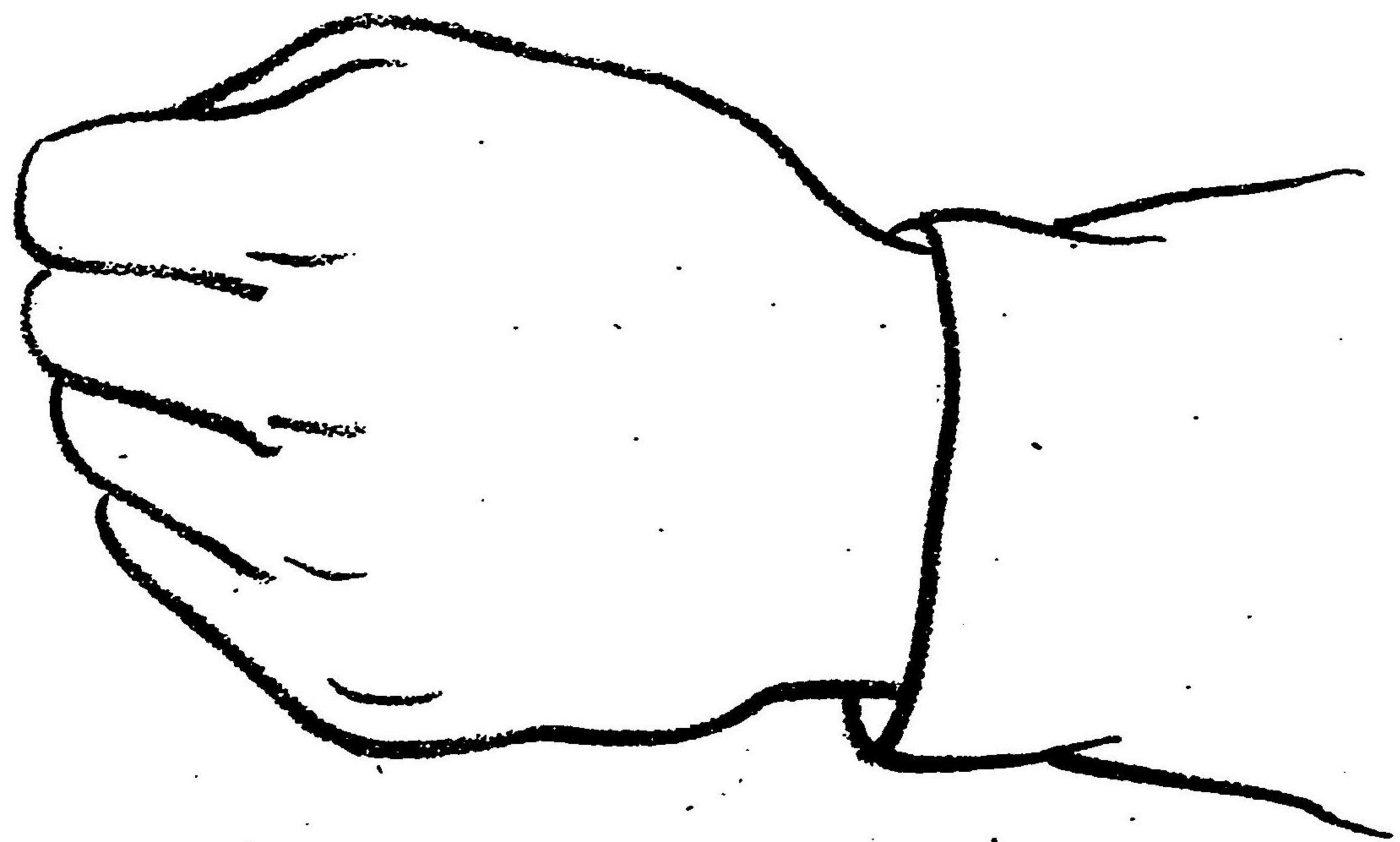
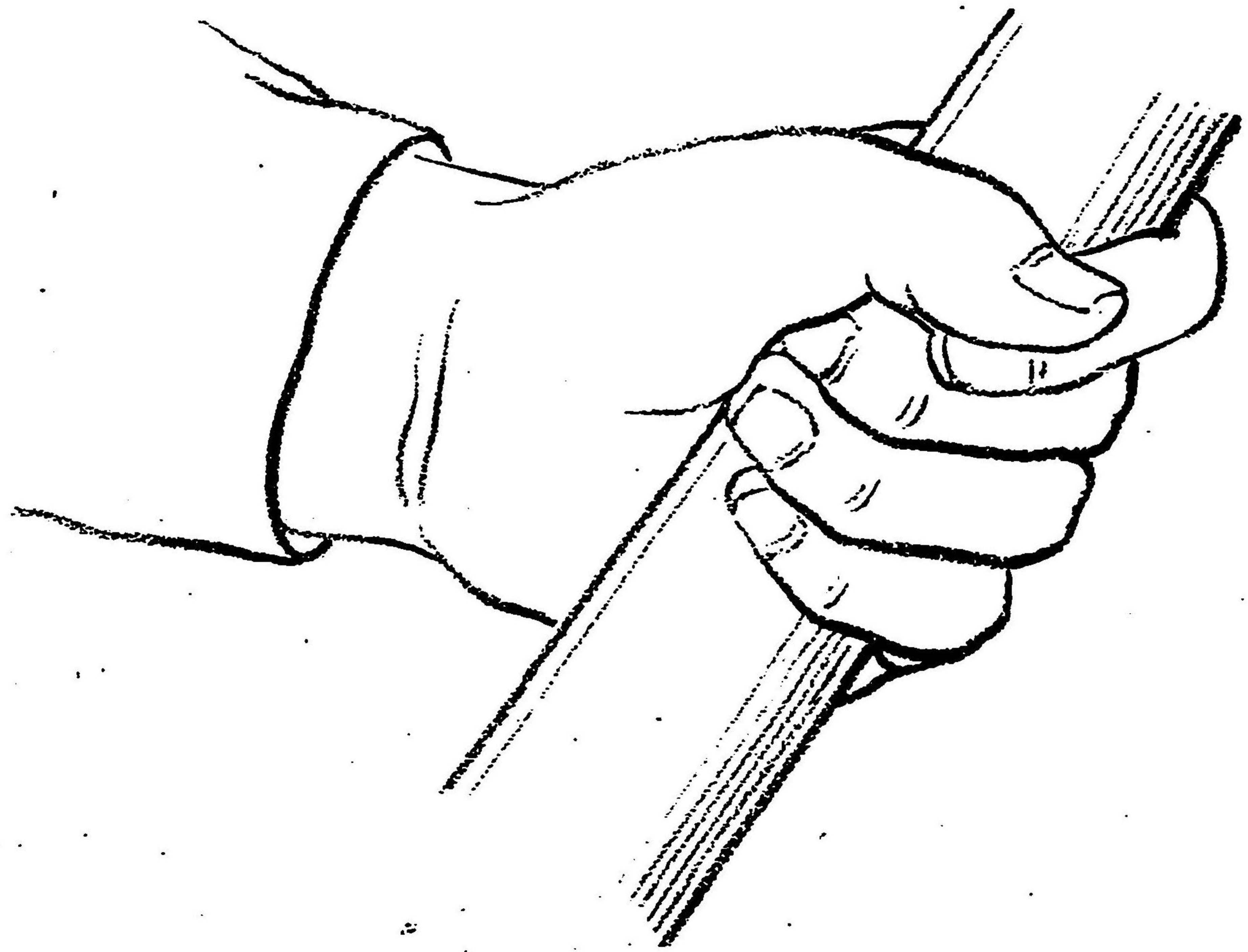


第九 戶棚





第十手



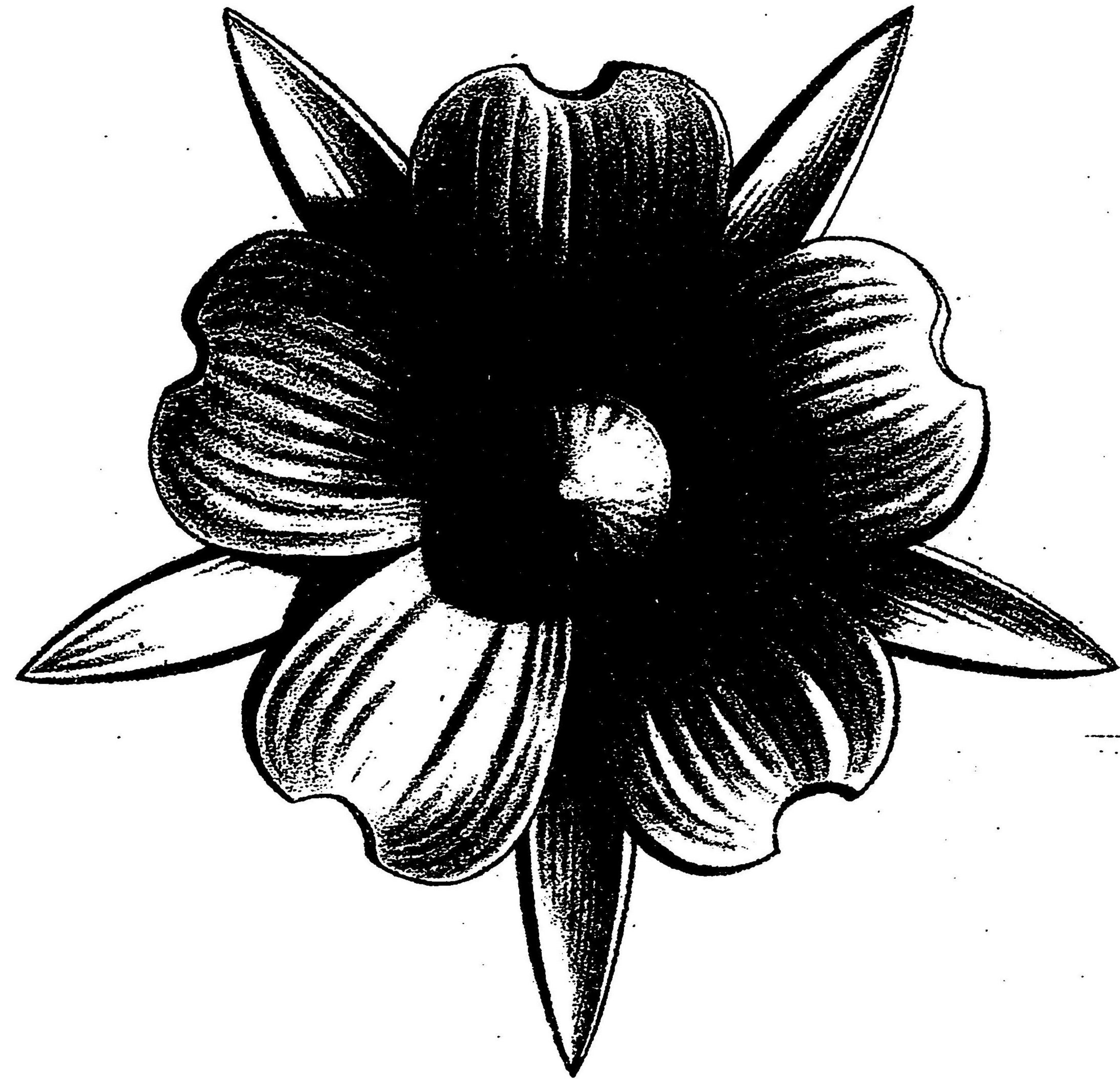
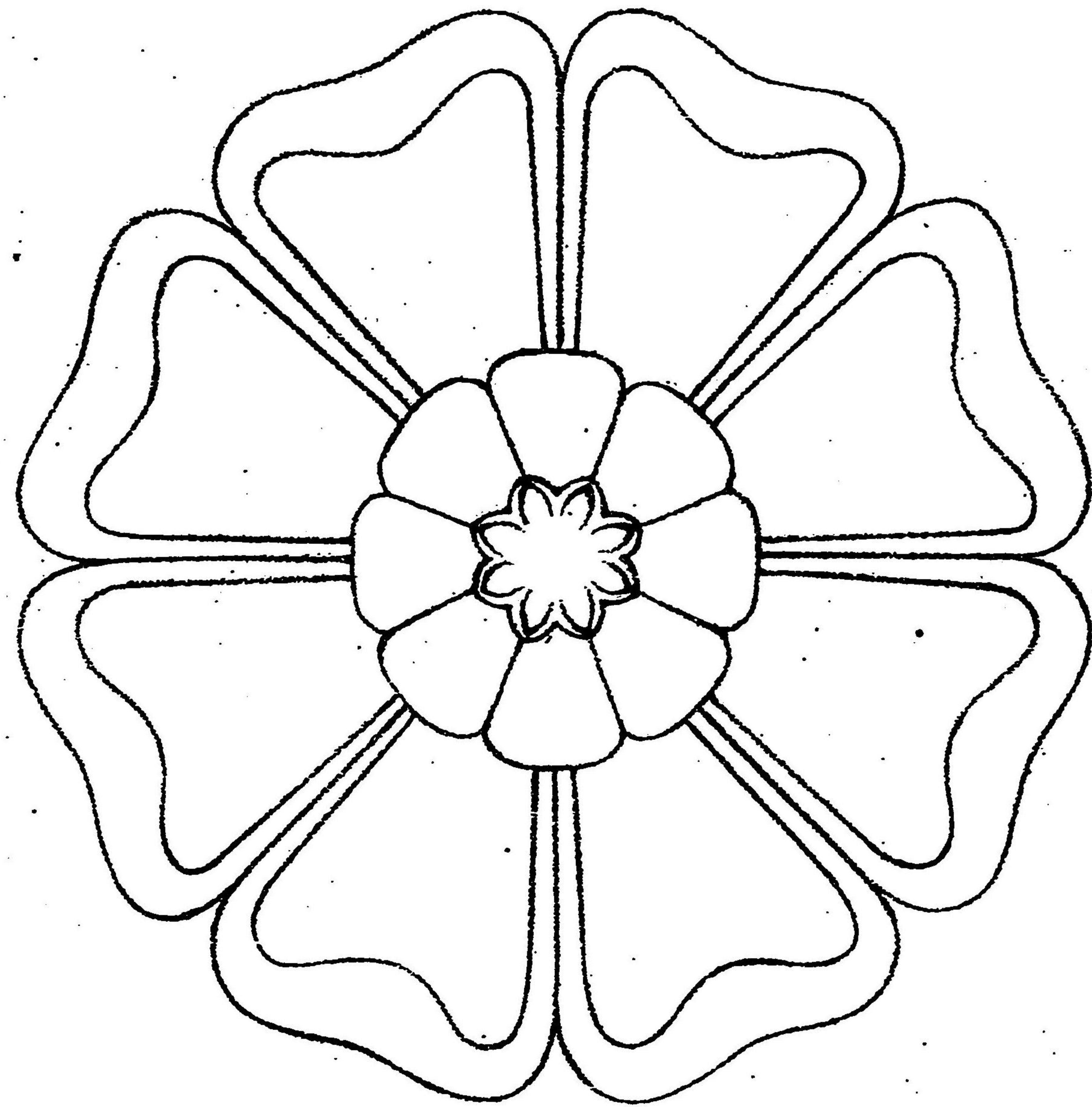


第十一 伊太利風模樣



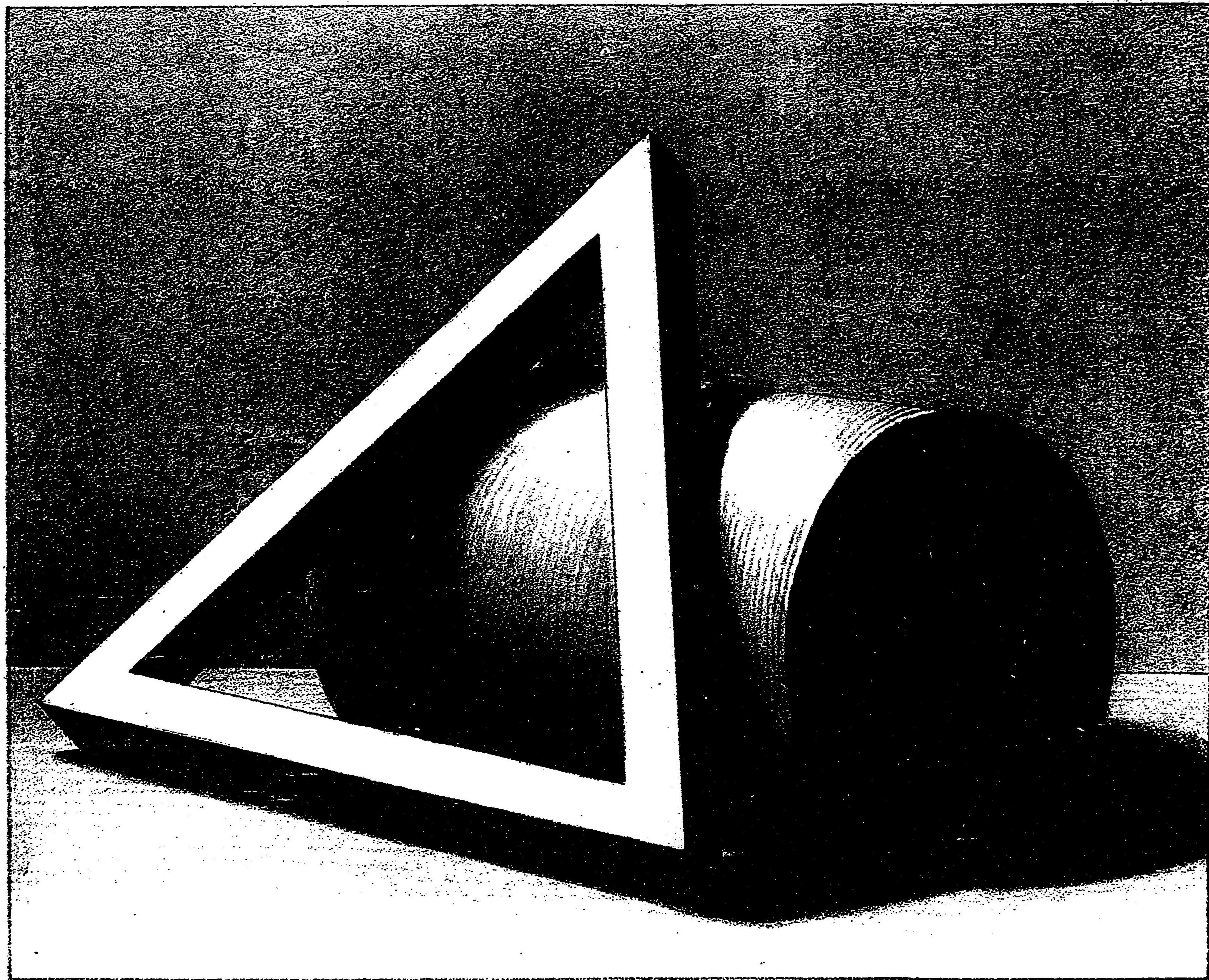


第二十花摸樣



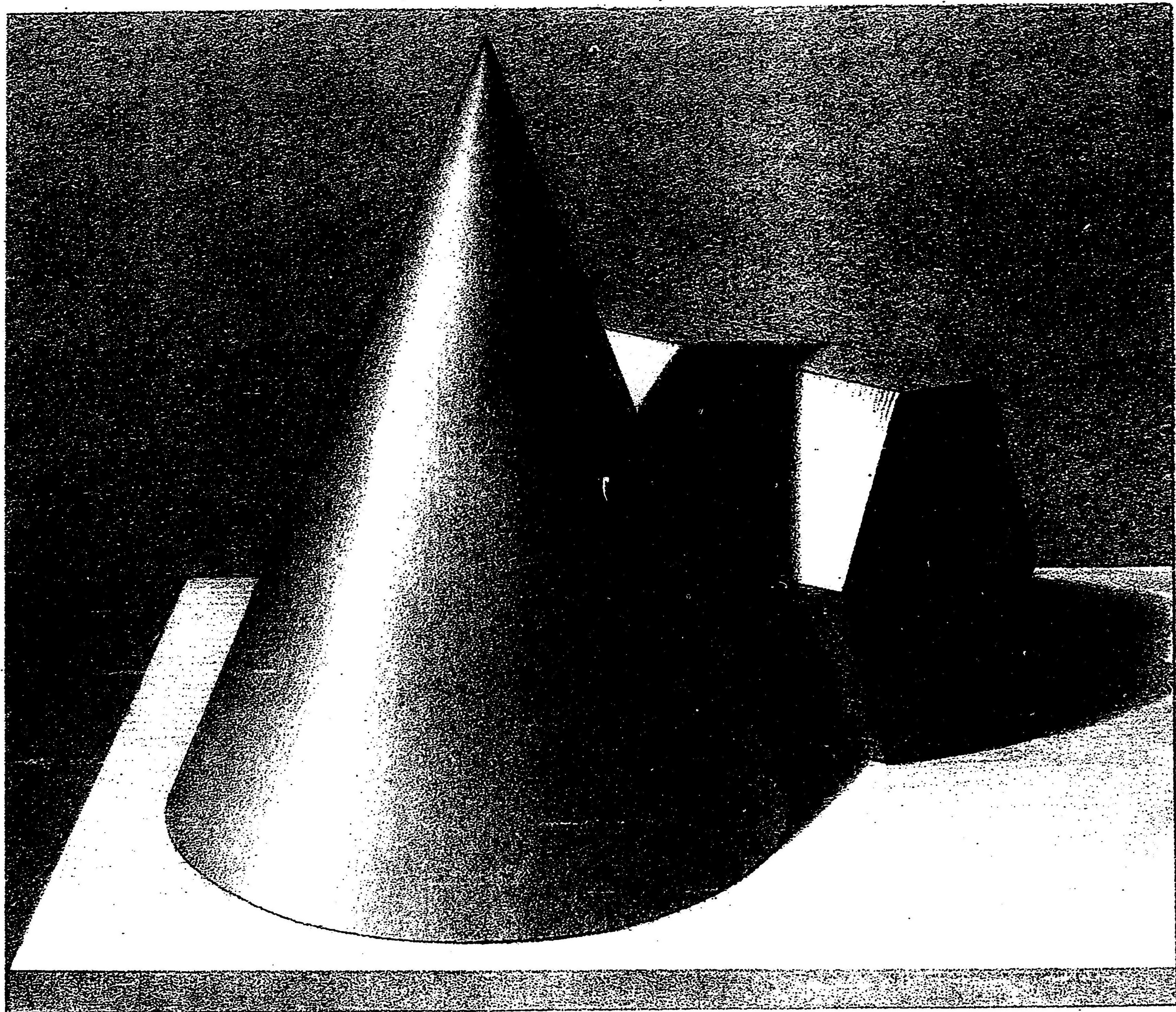


第十三 圓壙卜三角框



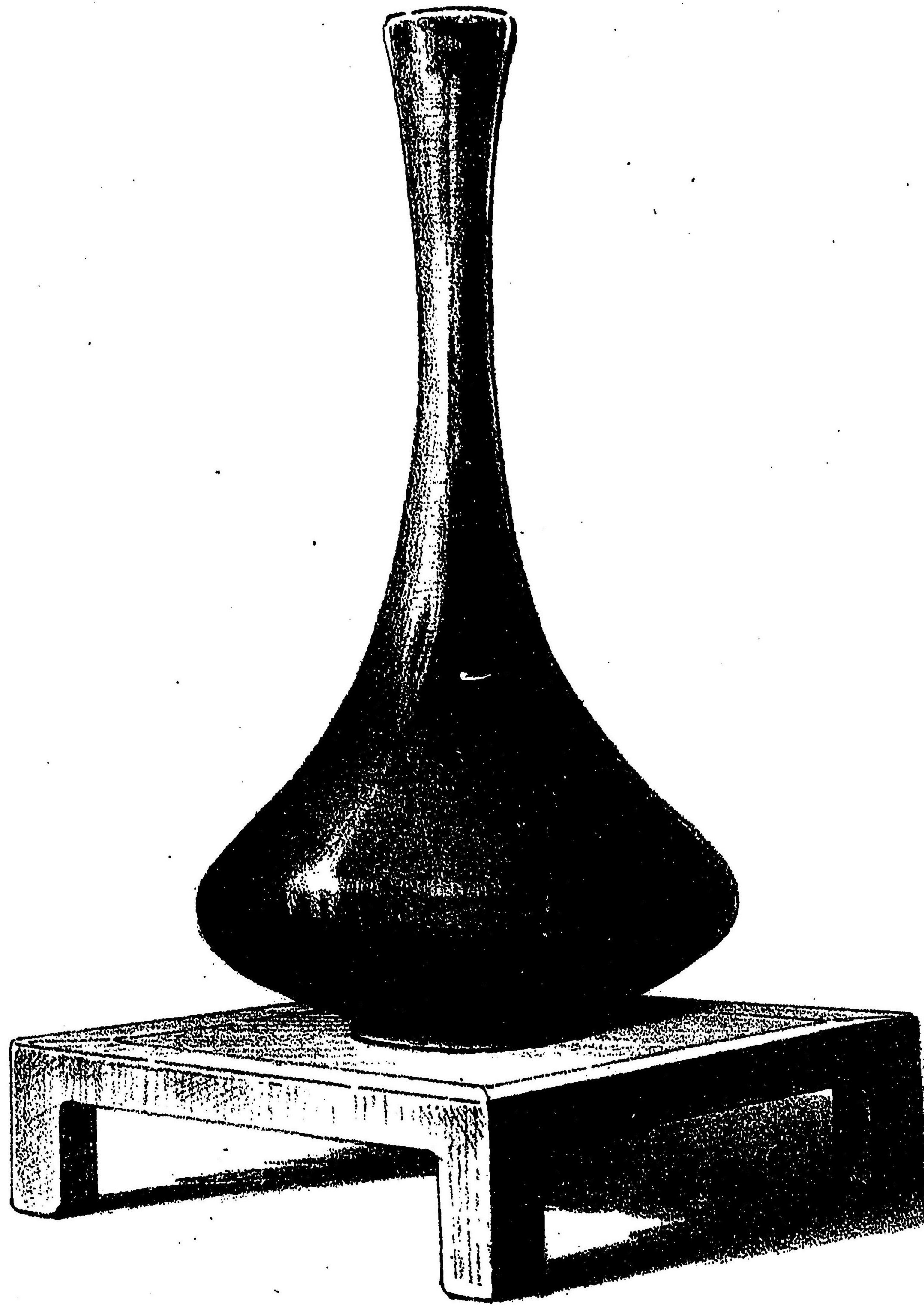


第十四 六角塙と圓錐



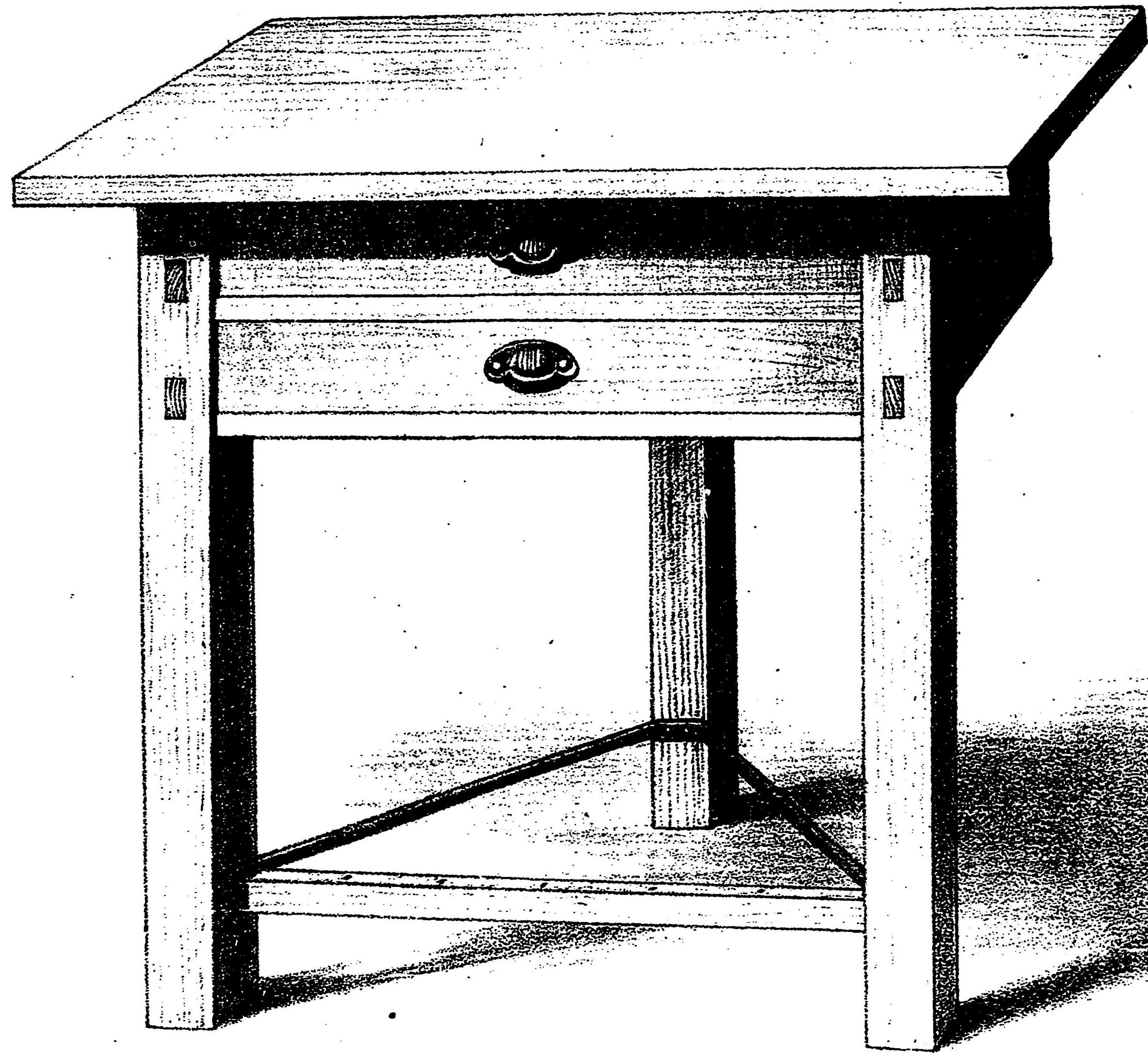


第十五  
花瓶



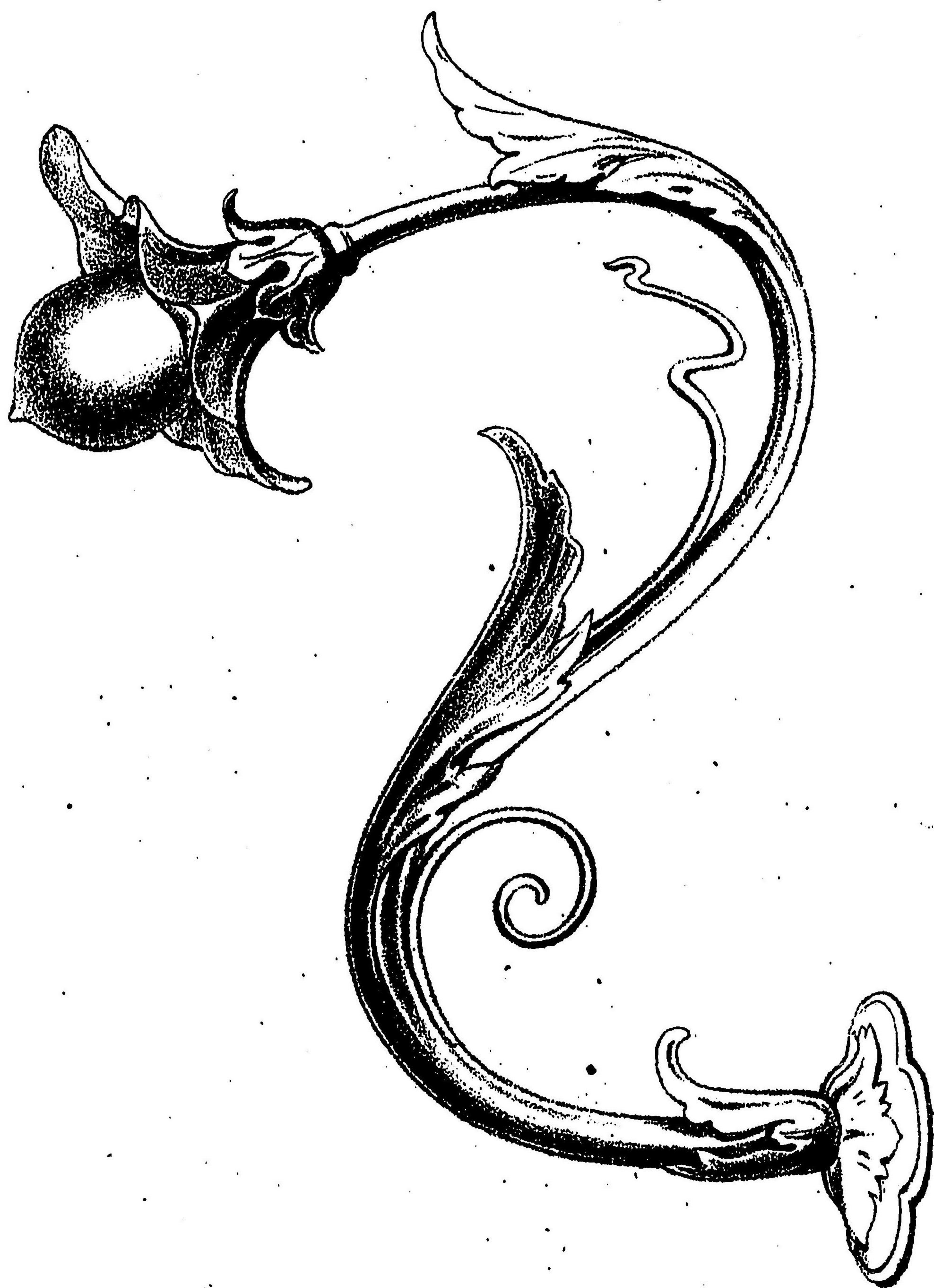


第十六  
テーブル



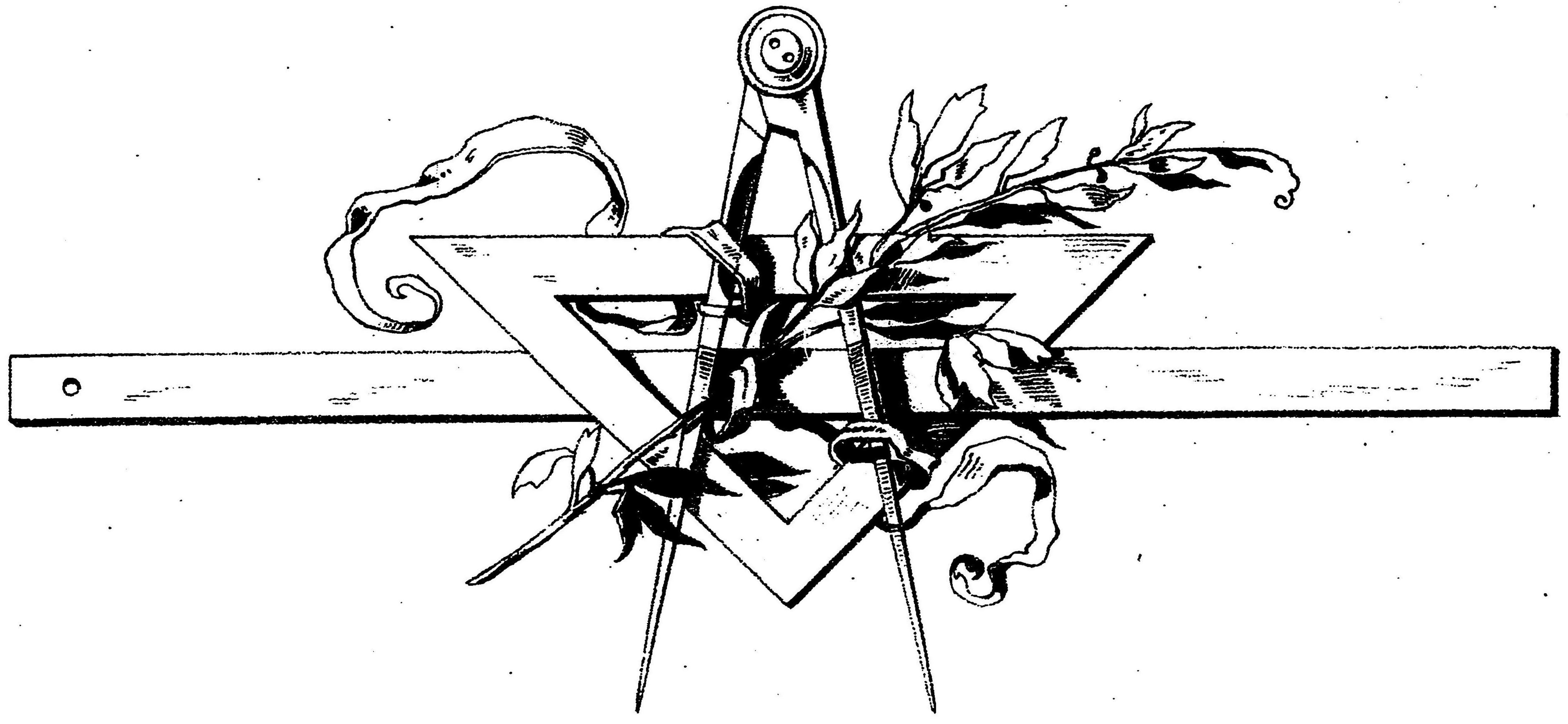


第十七 電燈用飾腕金



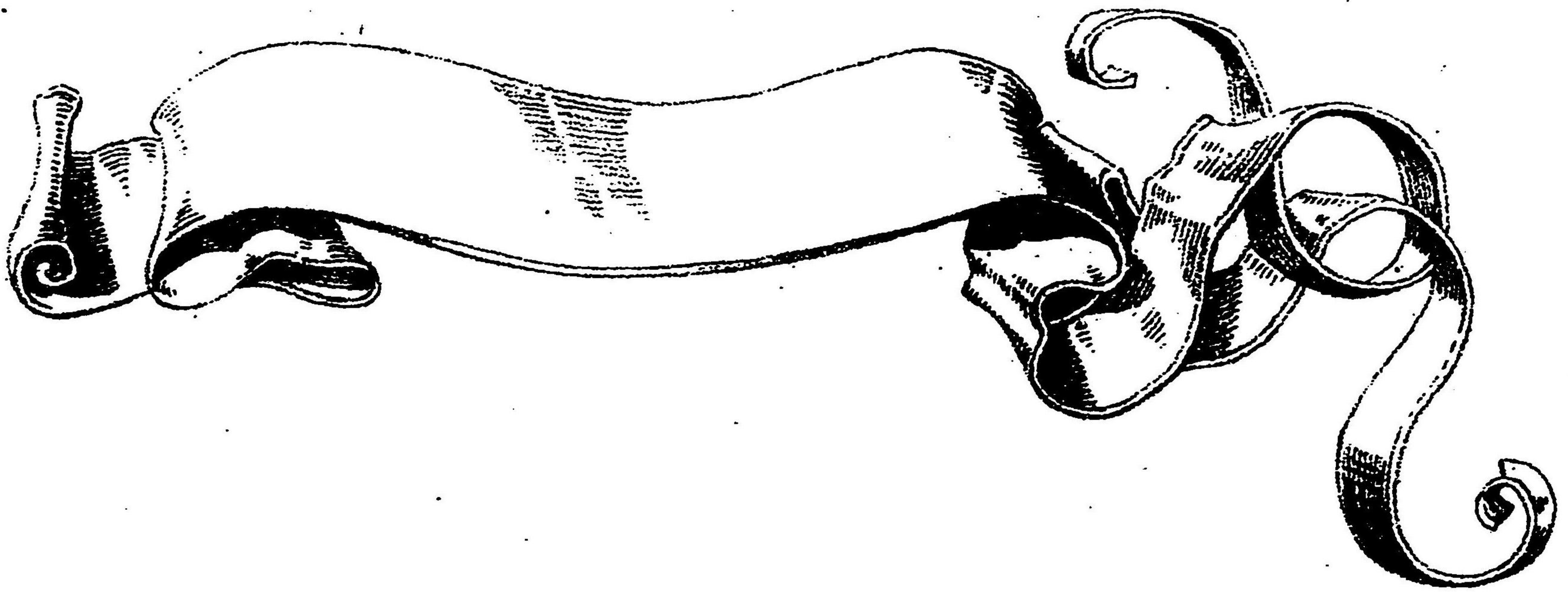
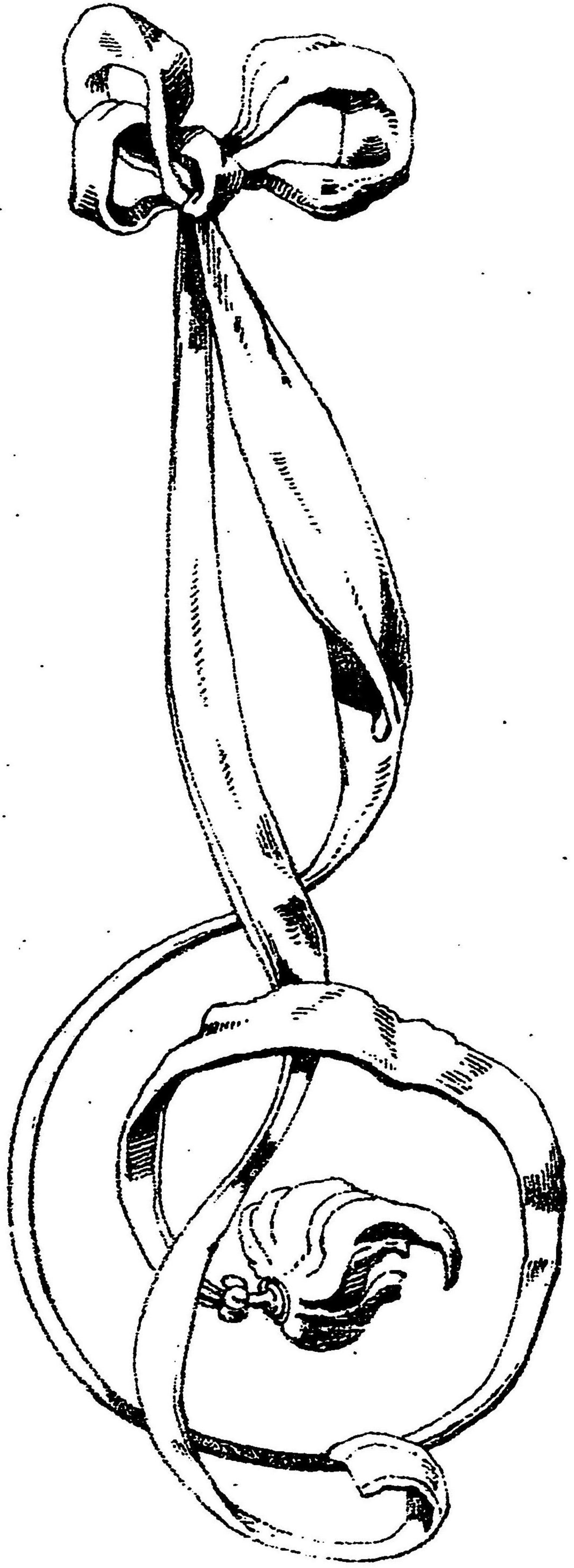


第十八 飾模様(るいかとるす式)





第十九 里ほん飾



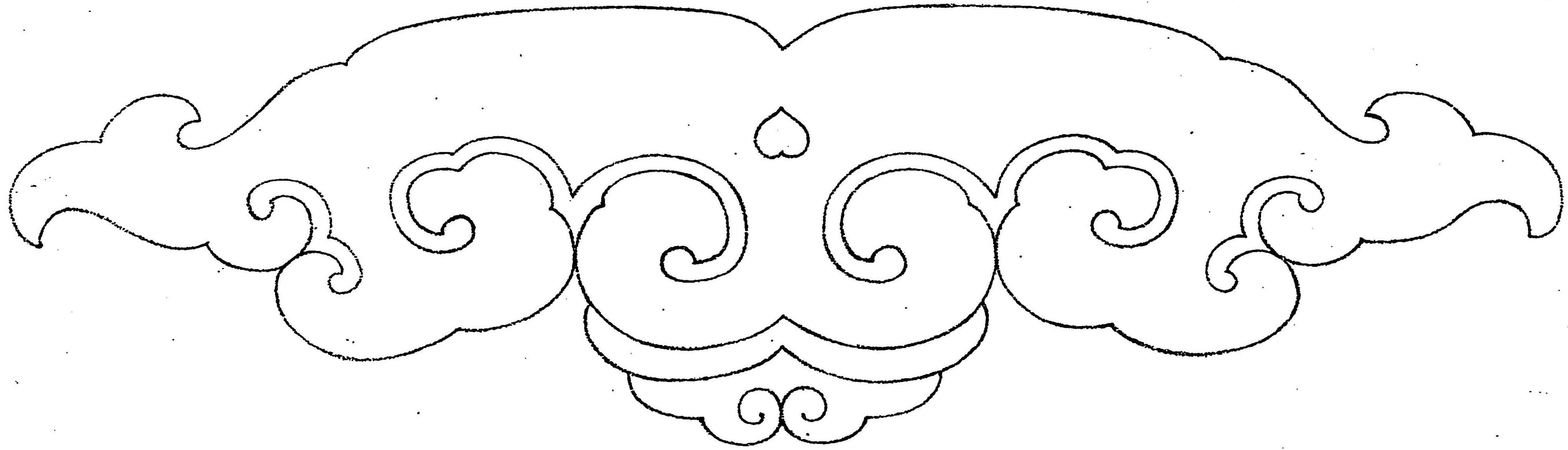


第二十 ガラス瓶



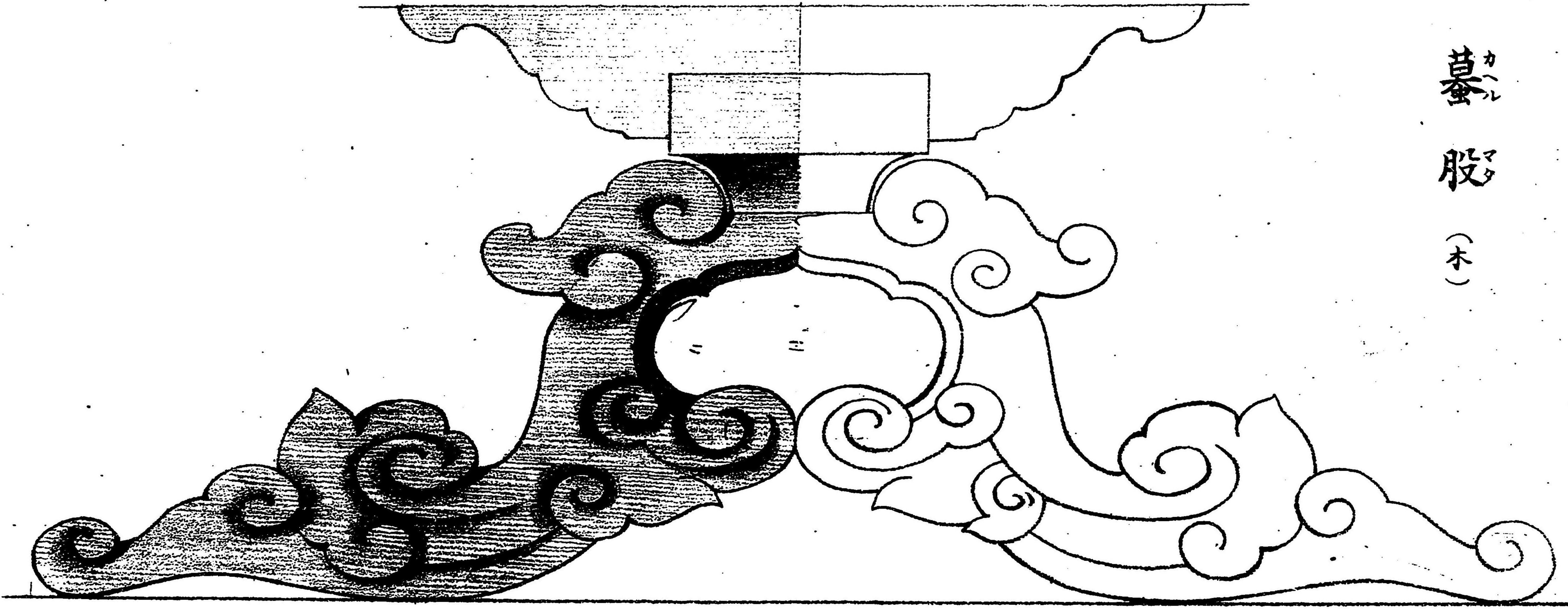


第 一 十 二 卷 唐 破 風 懸 魚 (木)



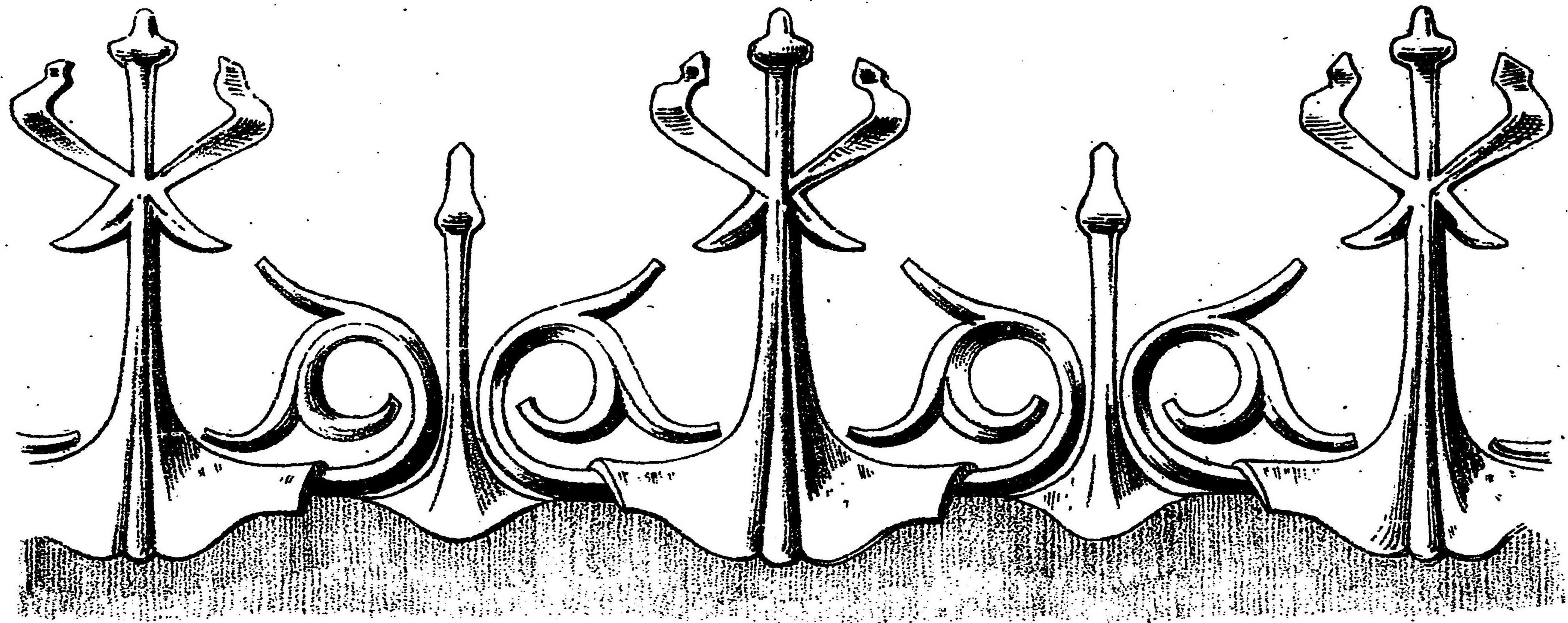


第二十二 墓股 (木)



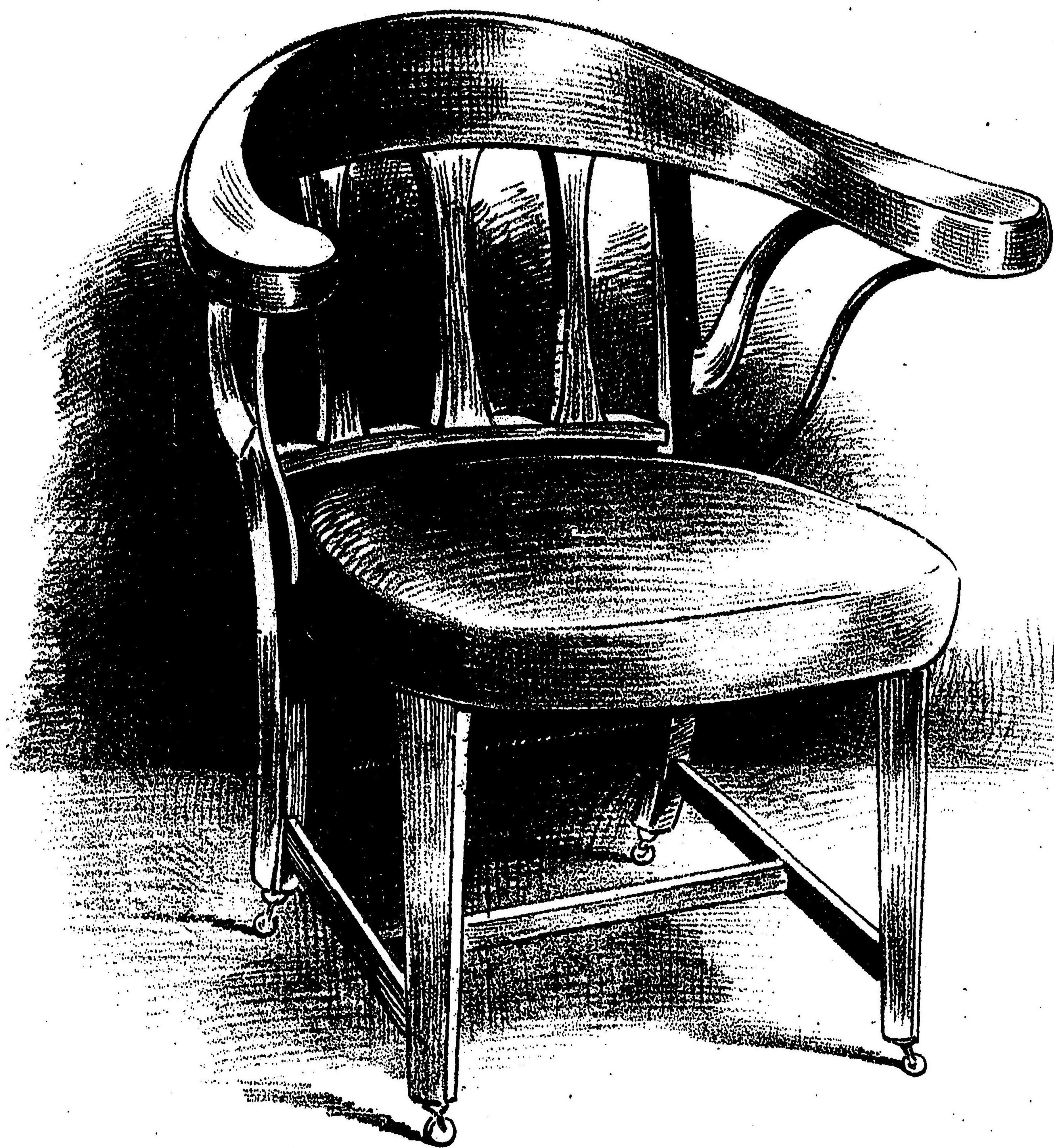


(木) 飾棟製鐵 三十二第



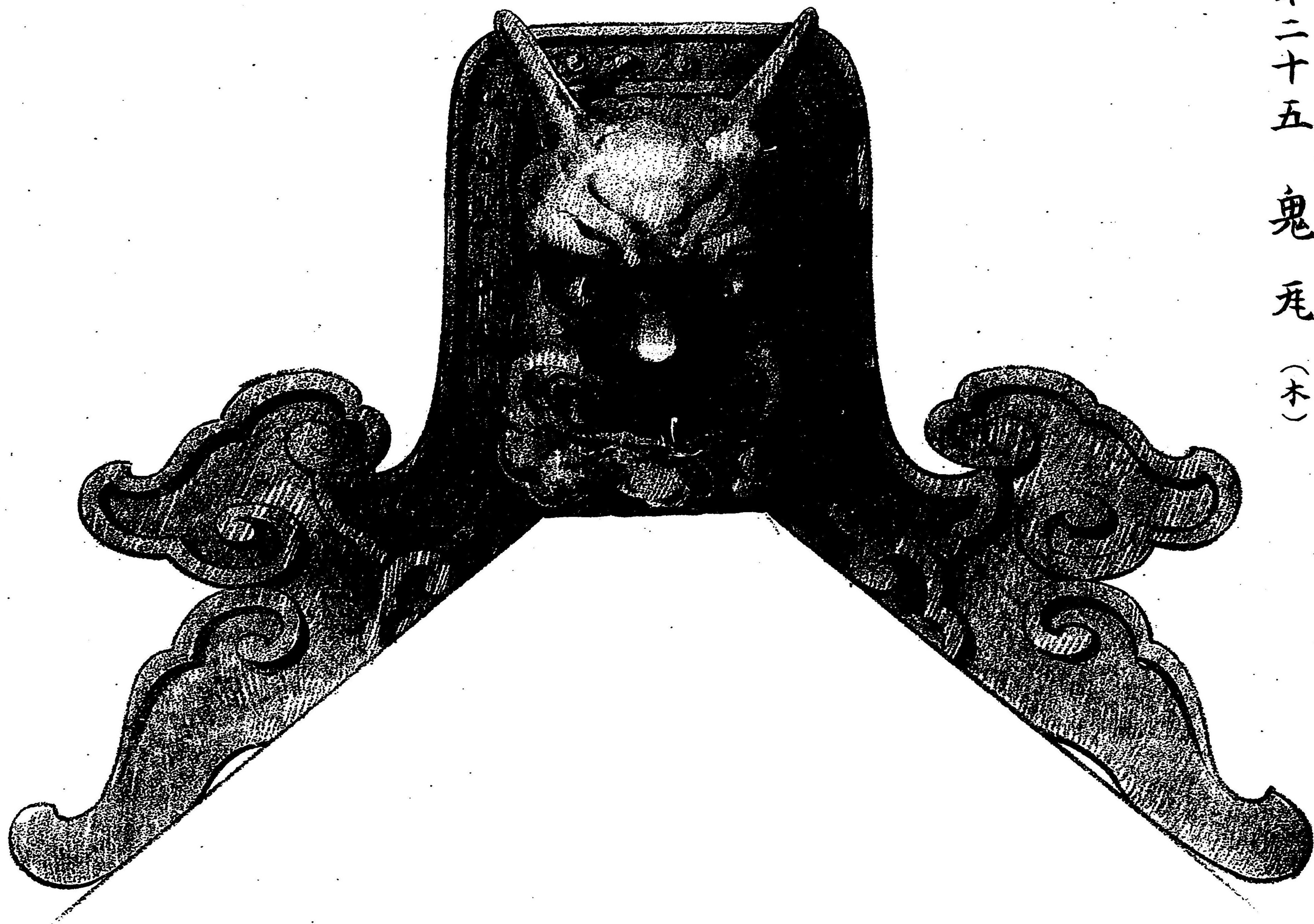


第二十四 椅子 (木)





第二十五 鬼瓦 (木)



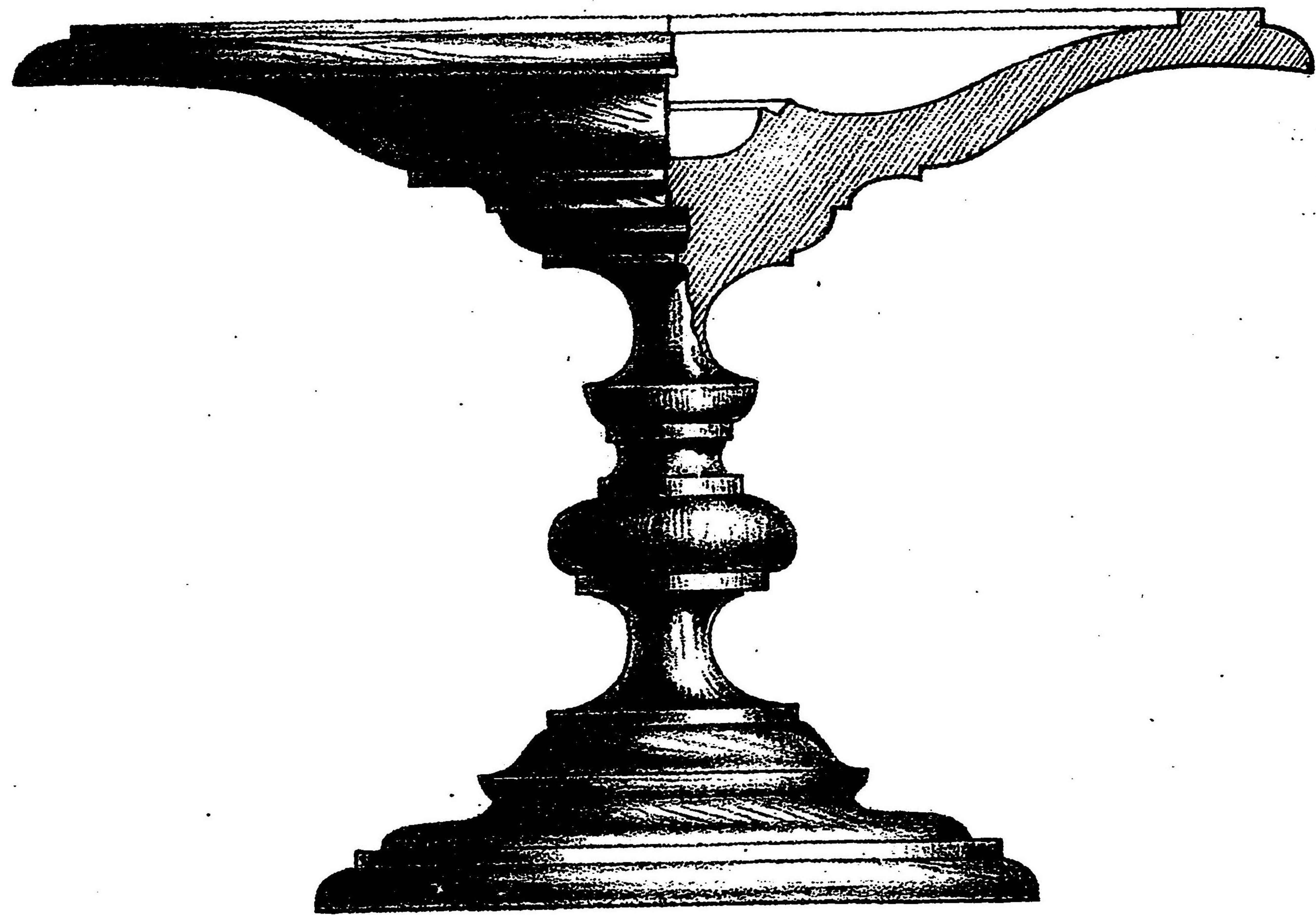


第二十六 柱頭(まがびたる)(木)



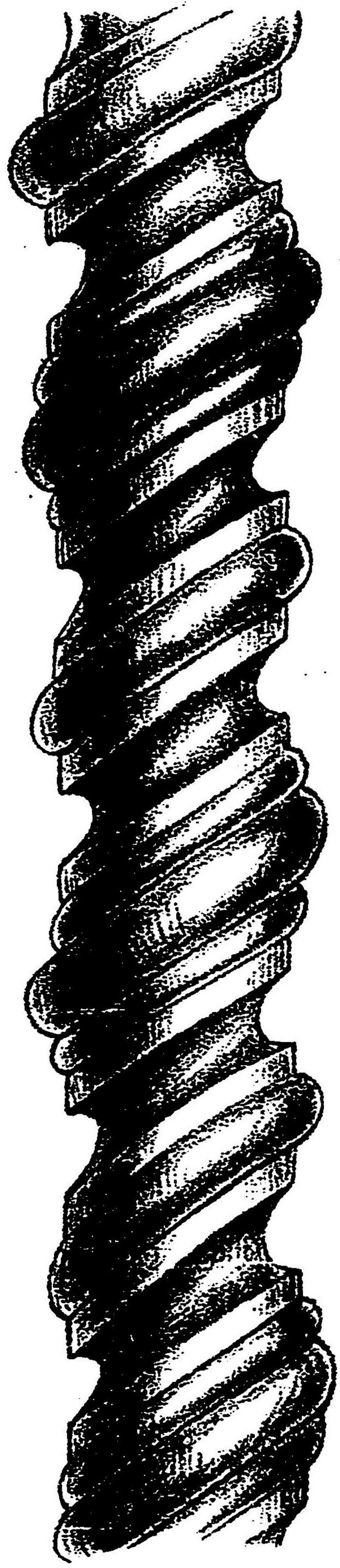
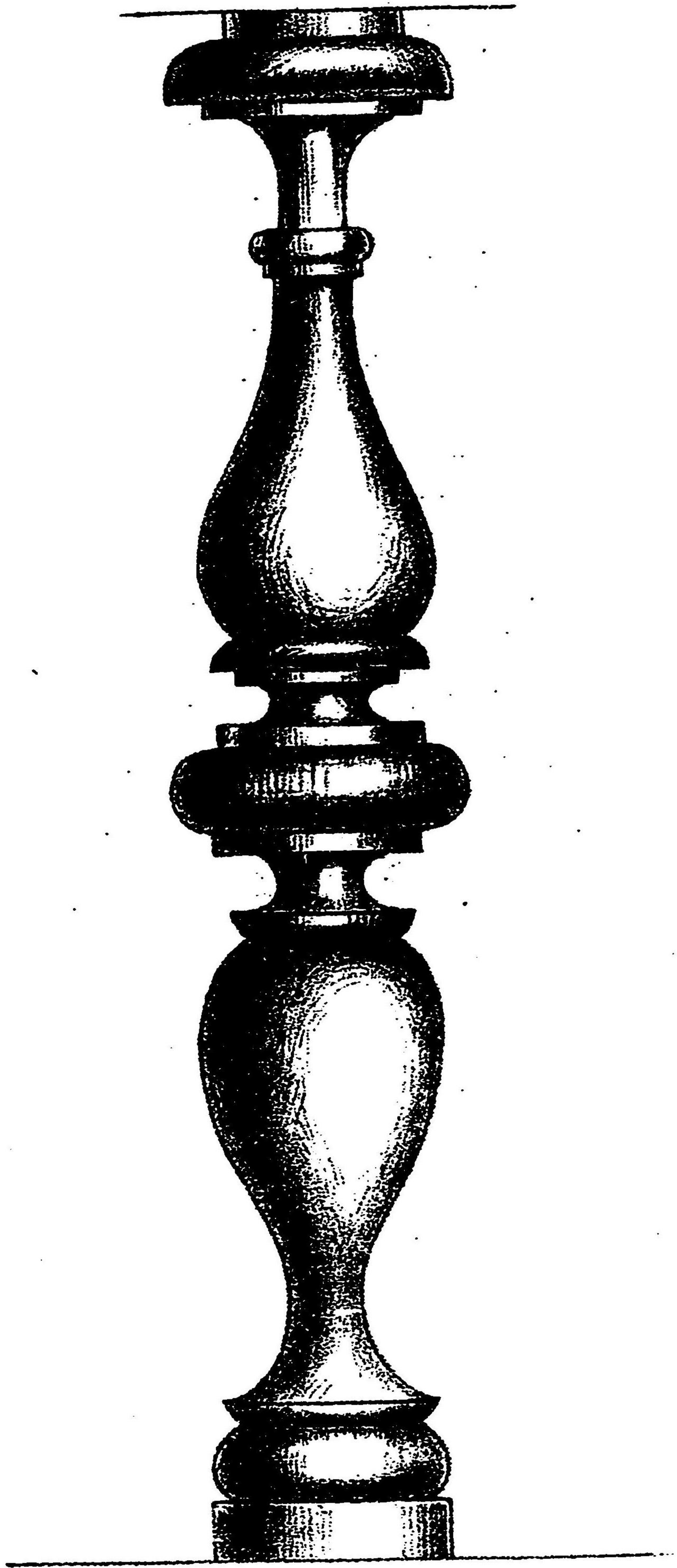


第二十七 燭臺ノ一部 (木)



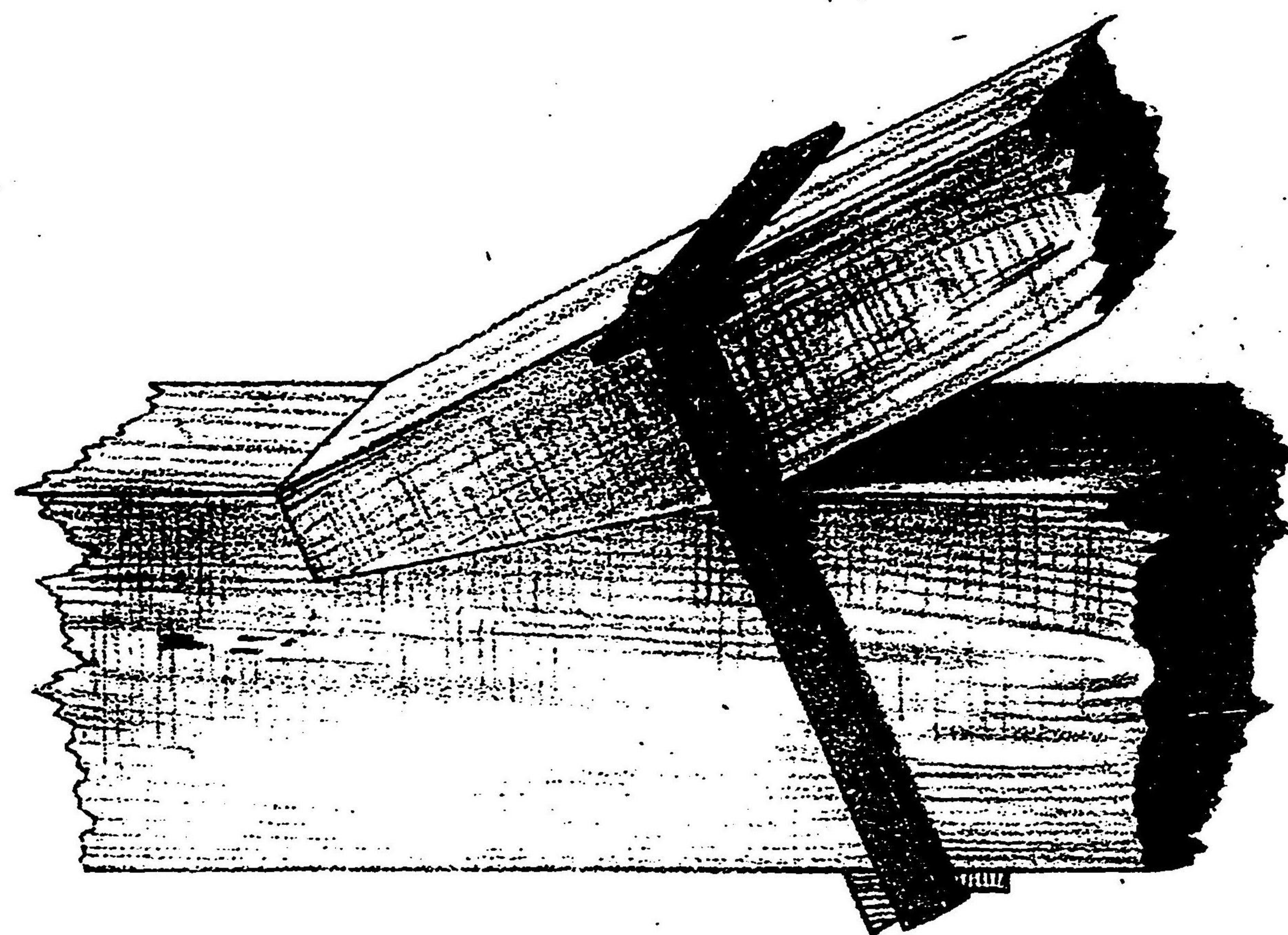
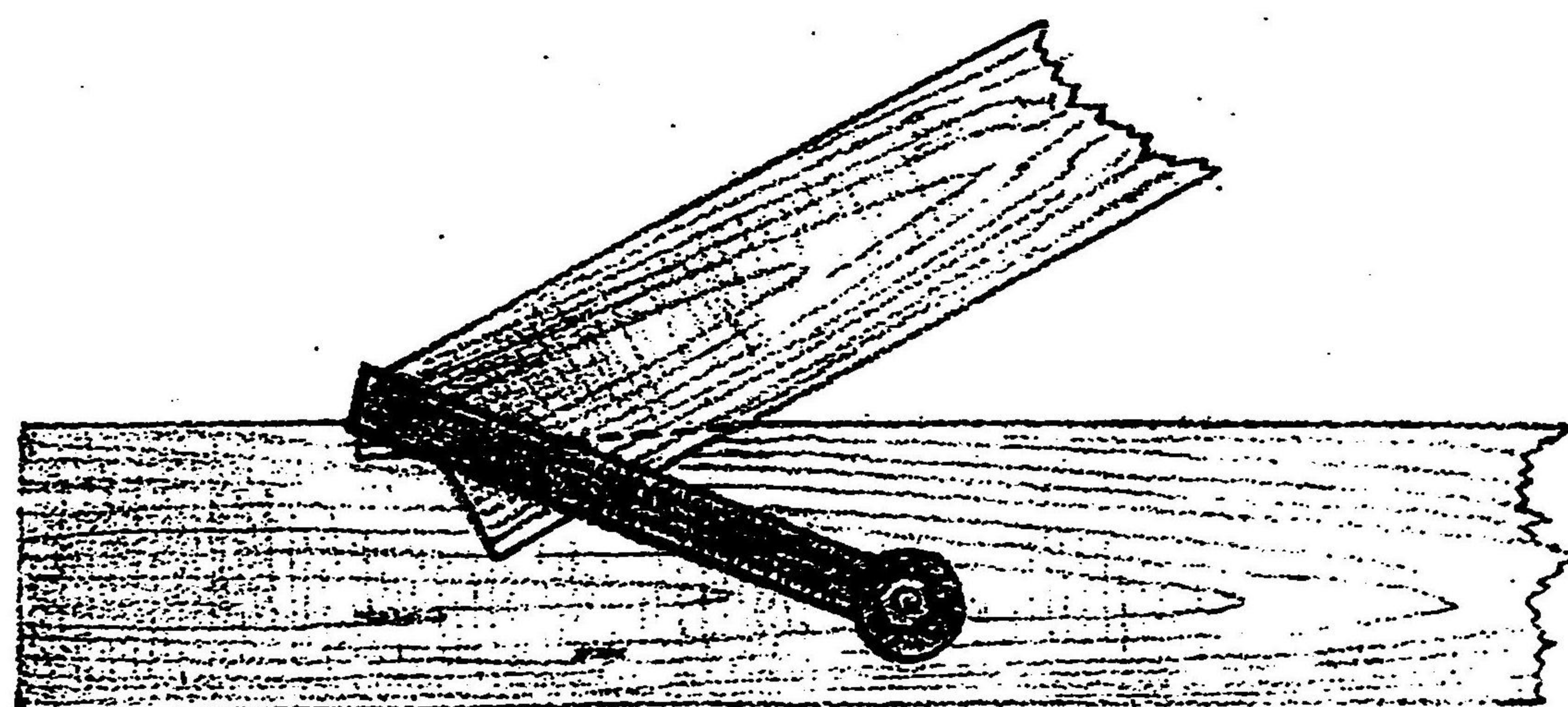
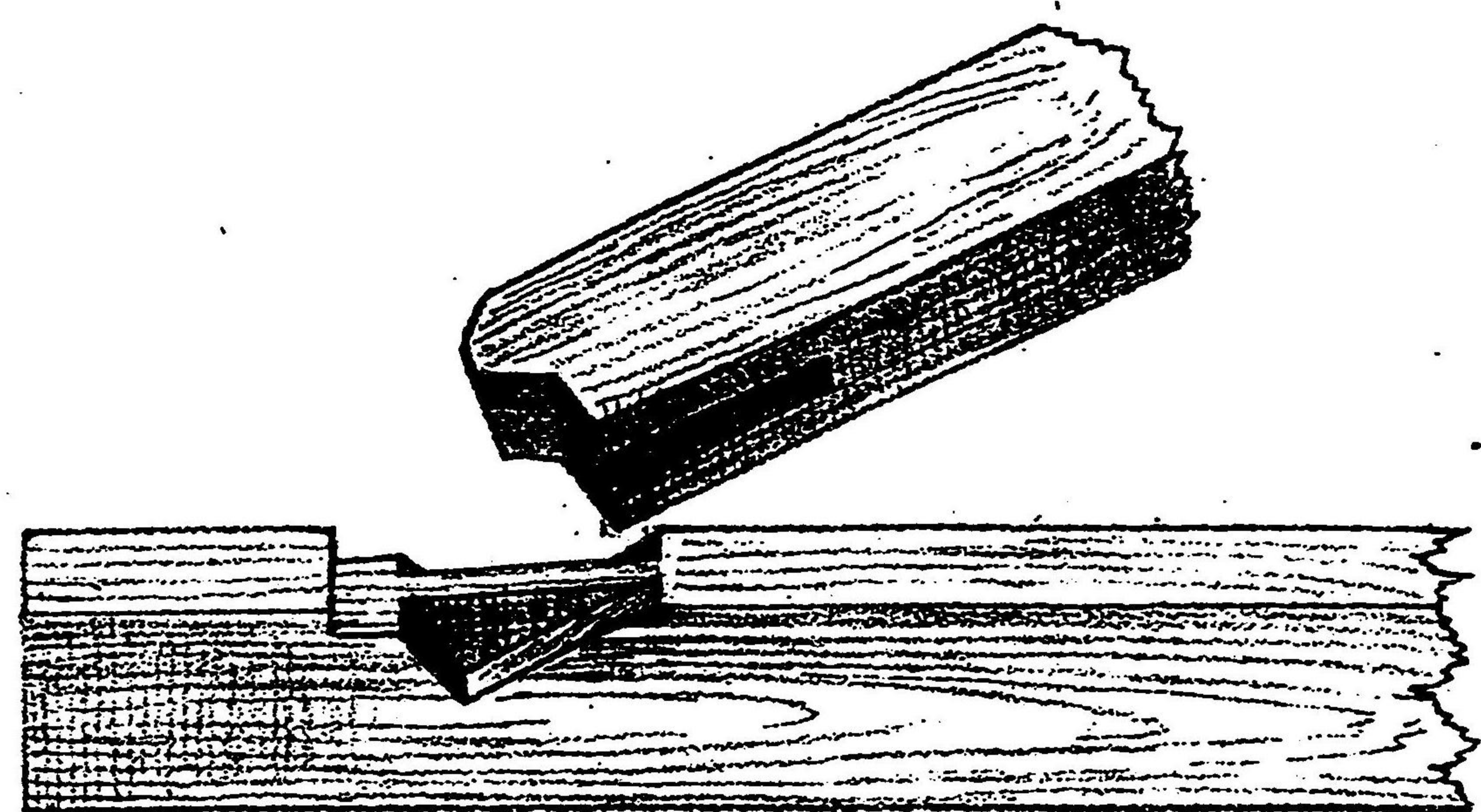


第二十八 手摺子 (木)





第 九 十 二 合 掌 尻 仕 口 (木)

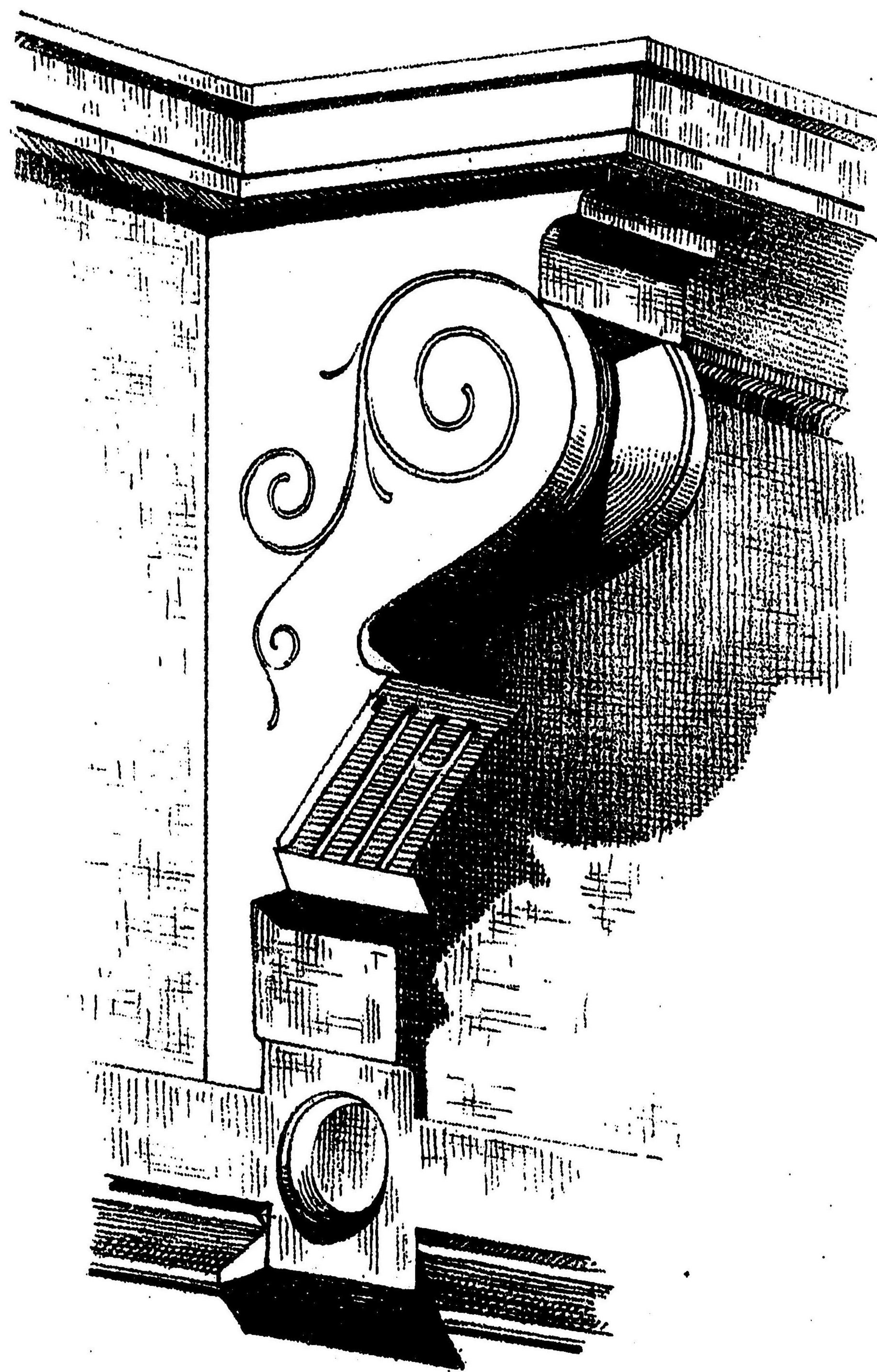




第三十

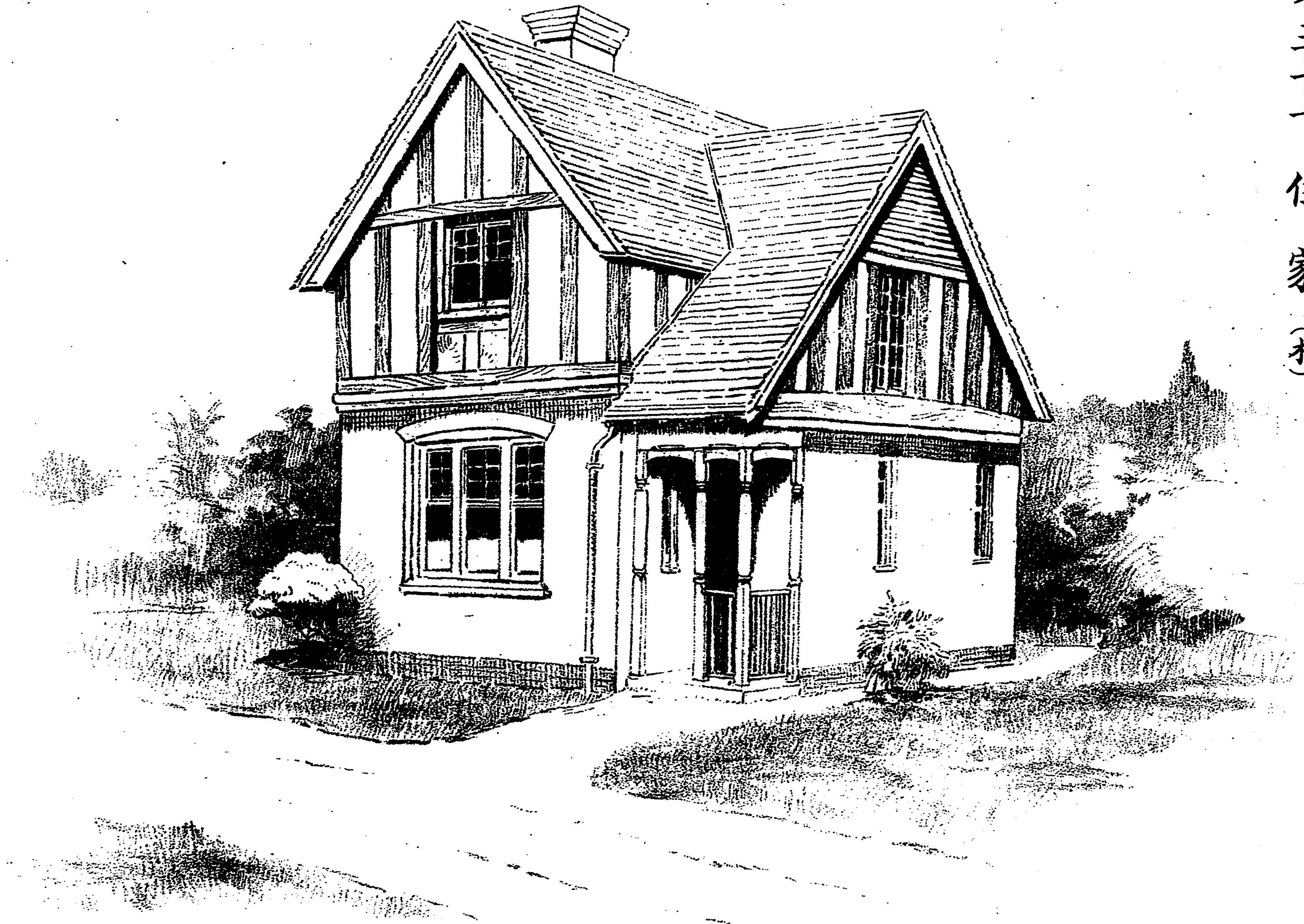
持<sup>モチ</sup>送<sup>オクリ</sup>

(木)



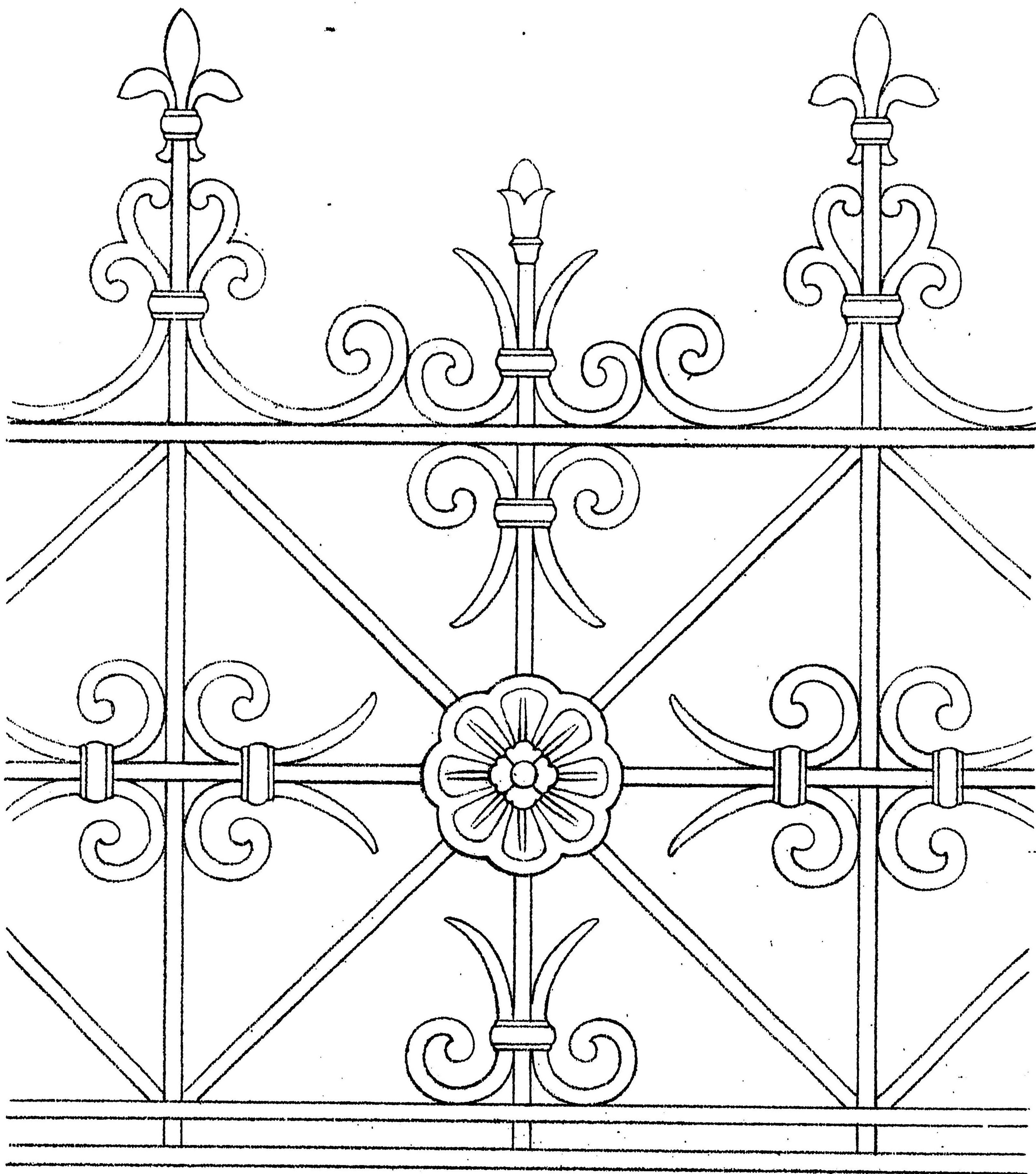


第三十一住家(木)



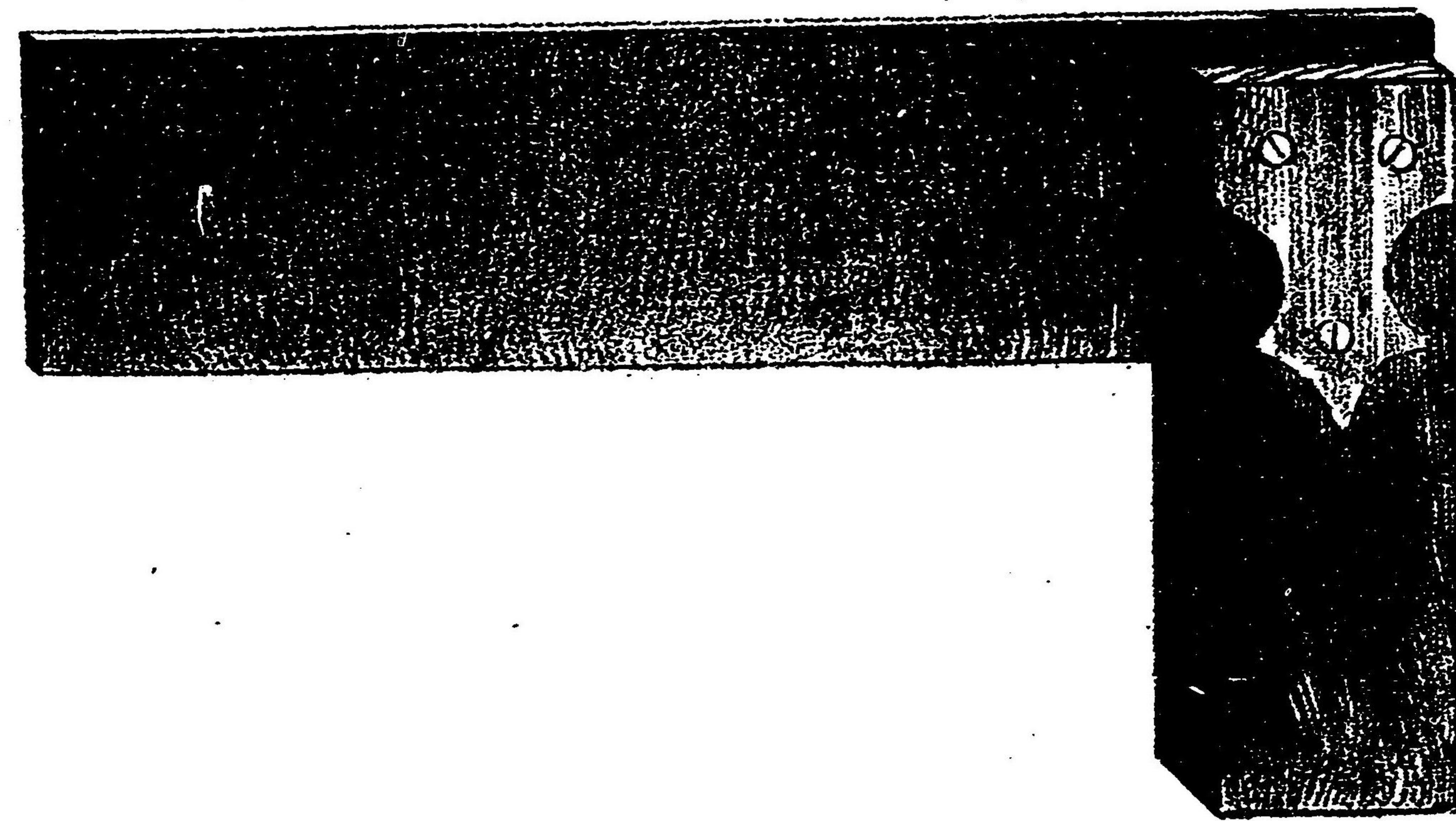
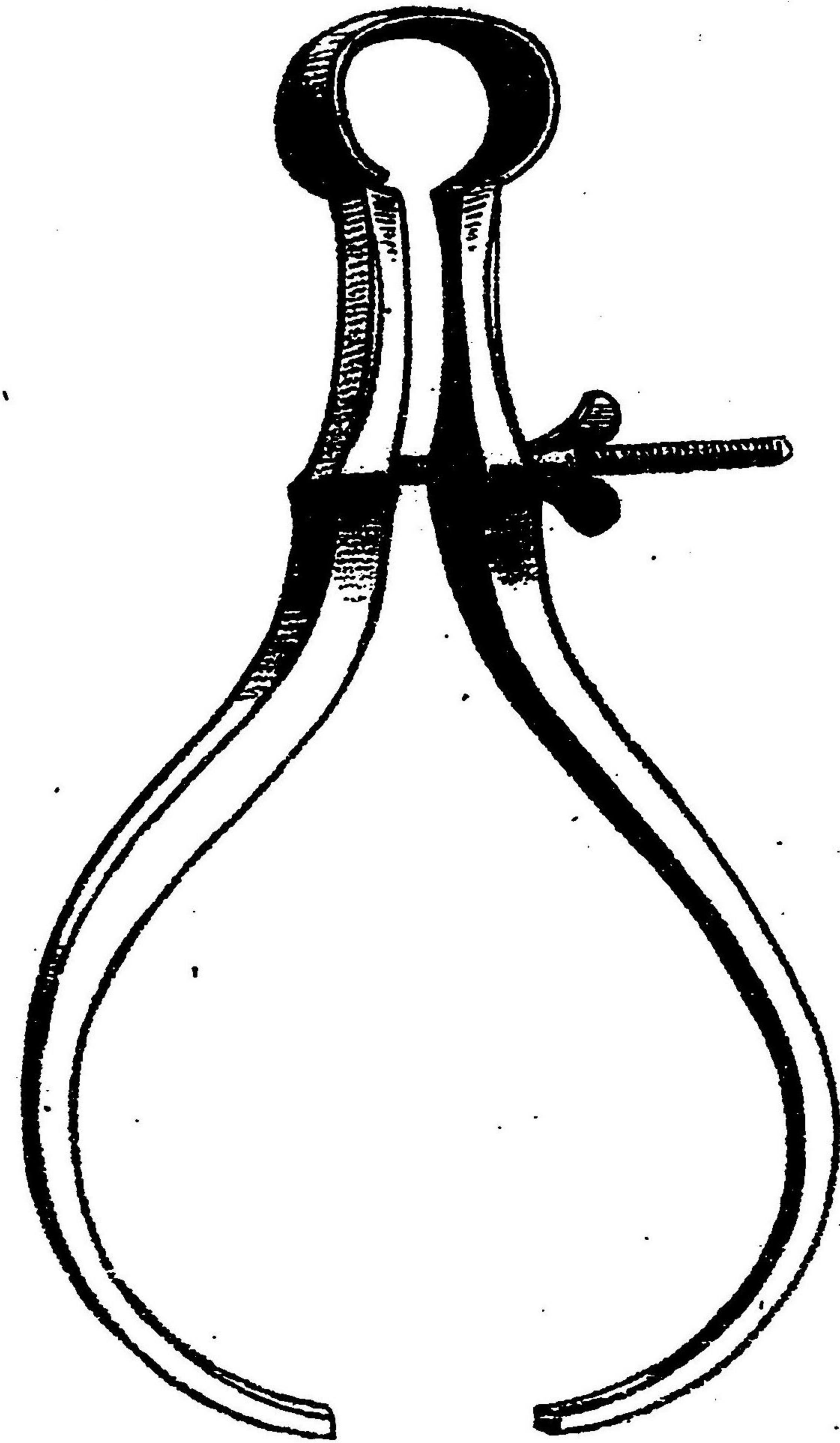


(金) 柵 鐵 二十三第



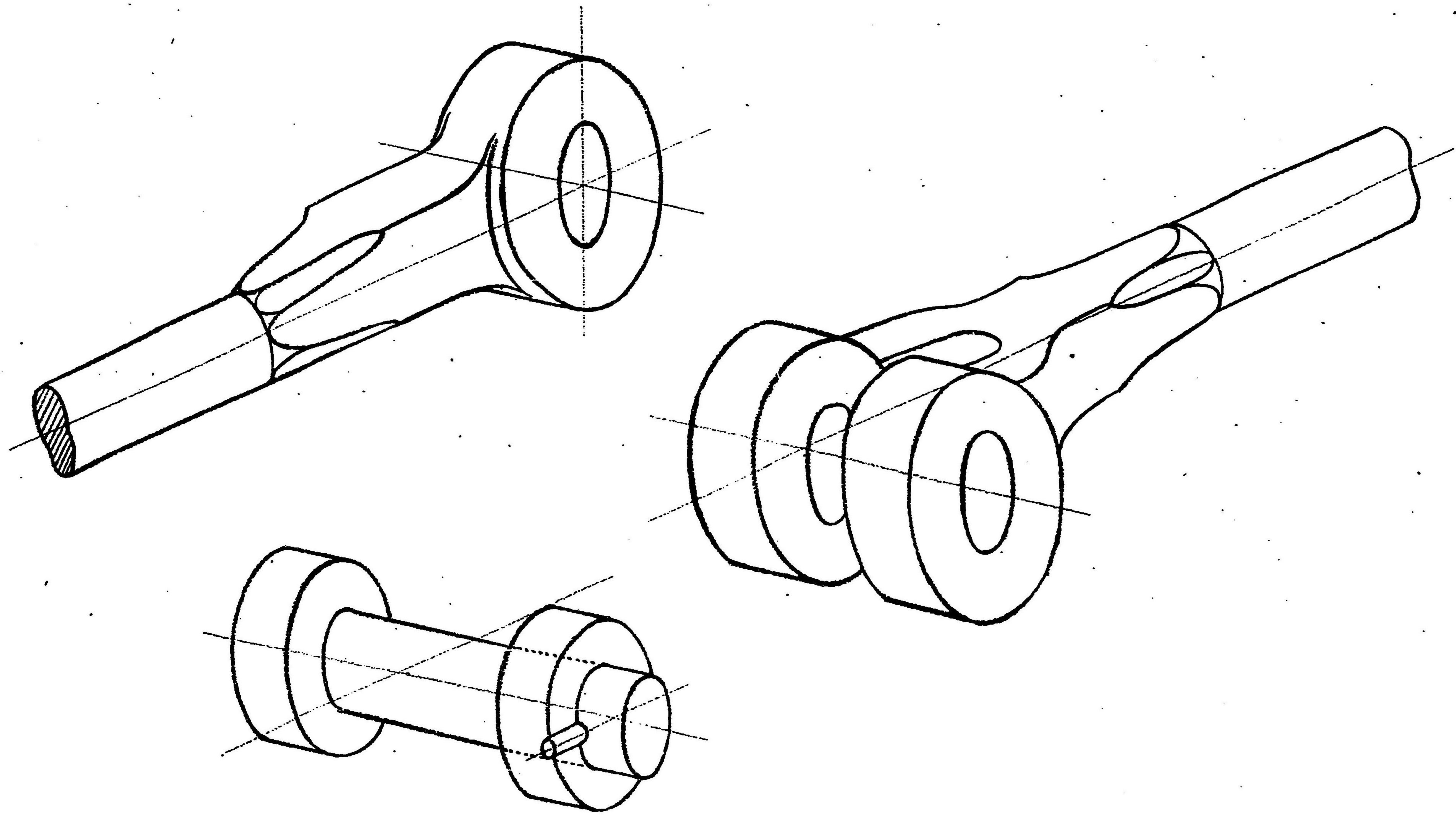


第三十三條 子加量す直角規定 (金)



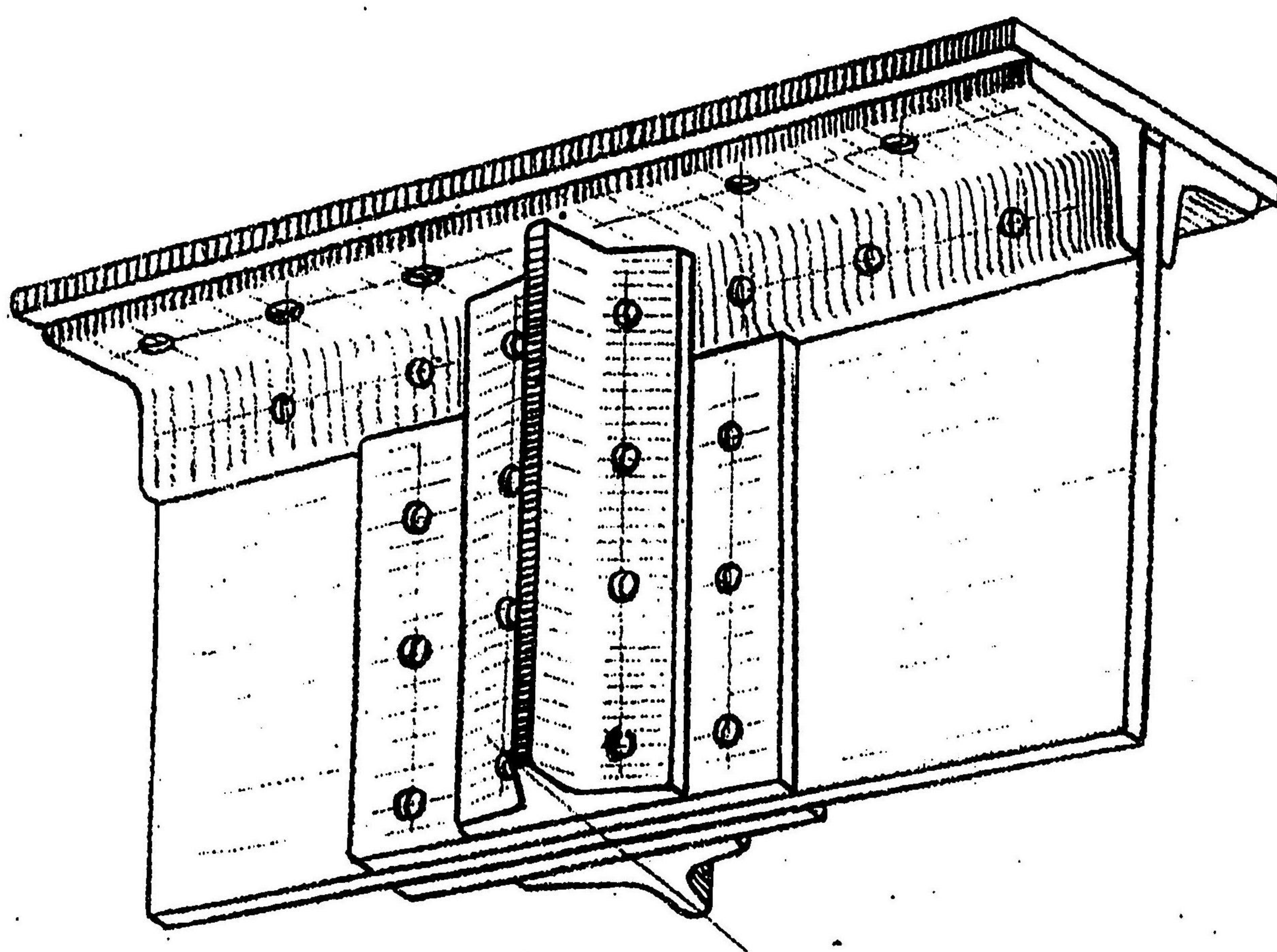
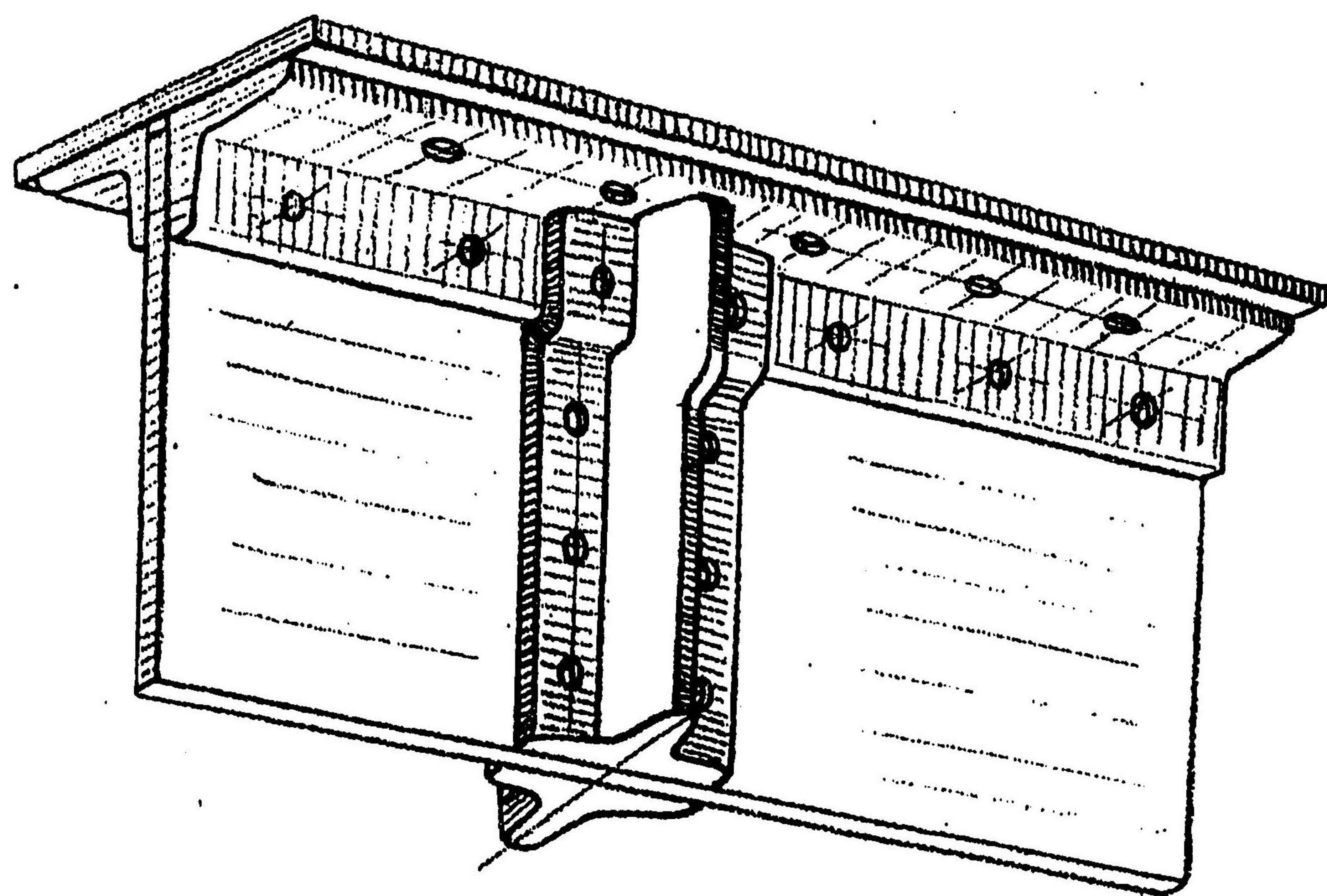


第三十四 目釘接手



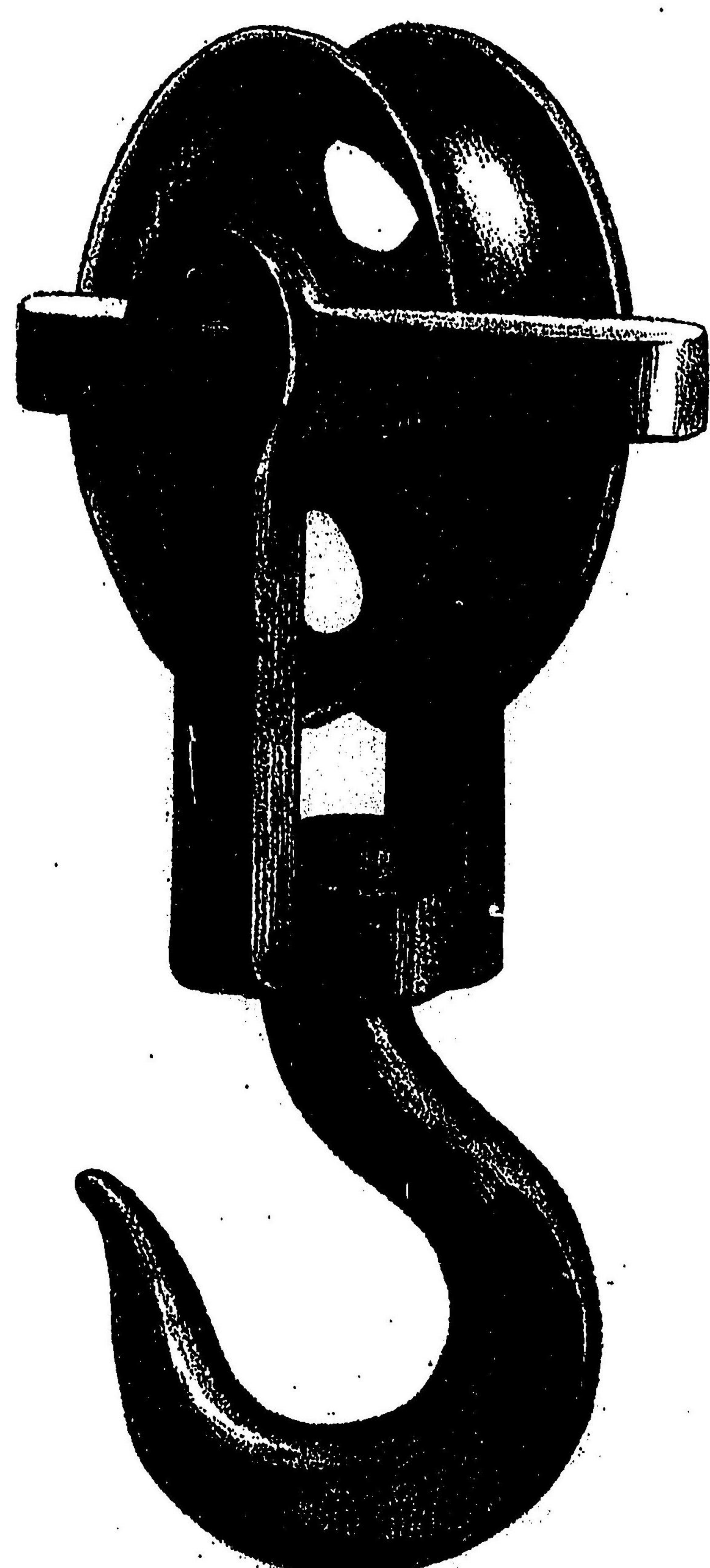


第三十五組立梁(金)



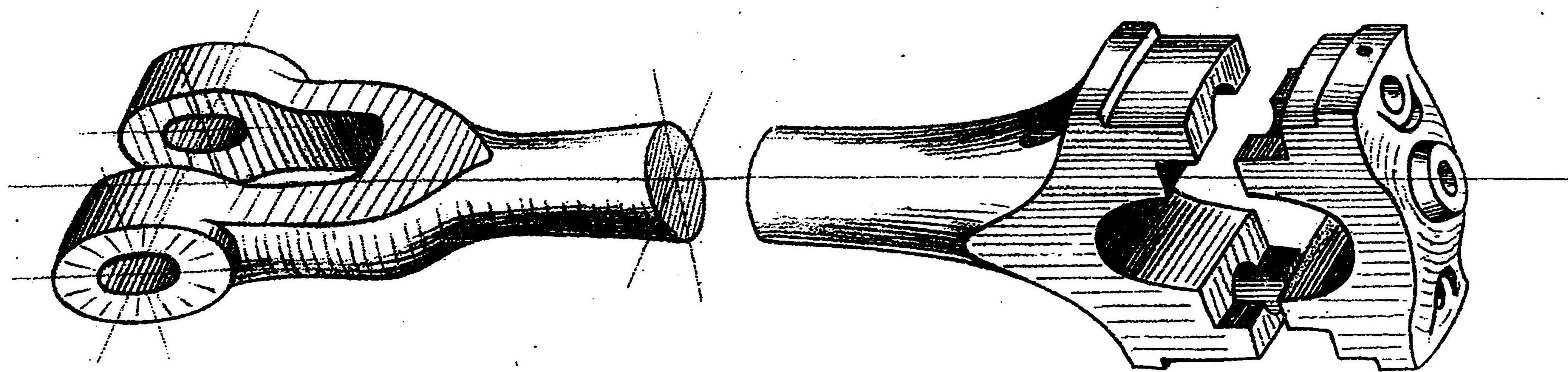


第三十六 鉤付<sub>キ</sub>滑車<sub>ニ</sub> (金)



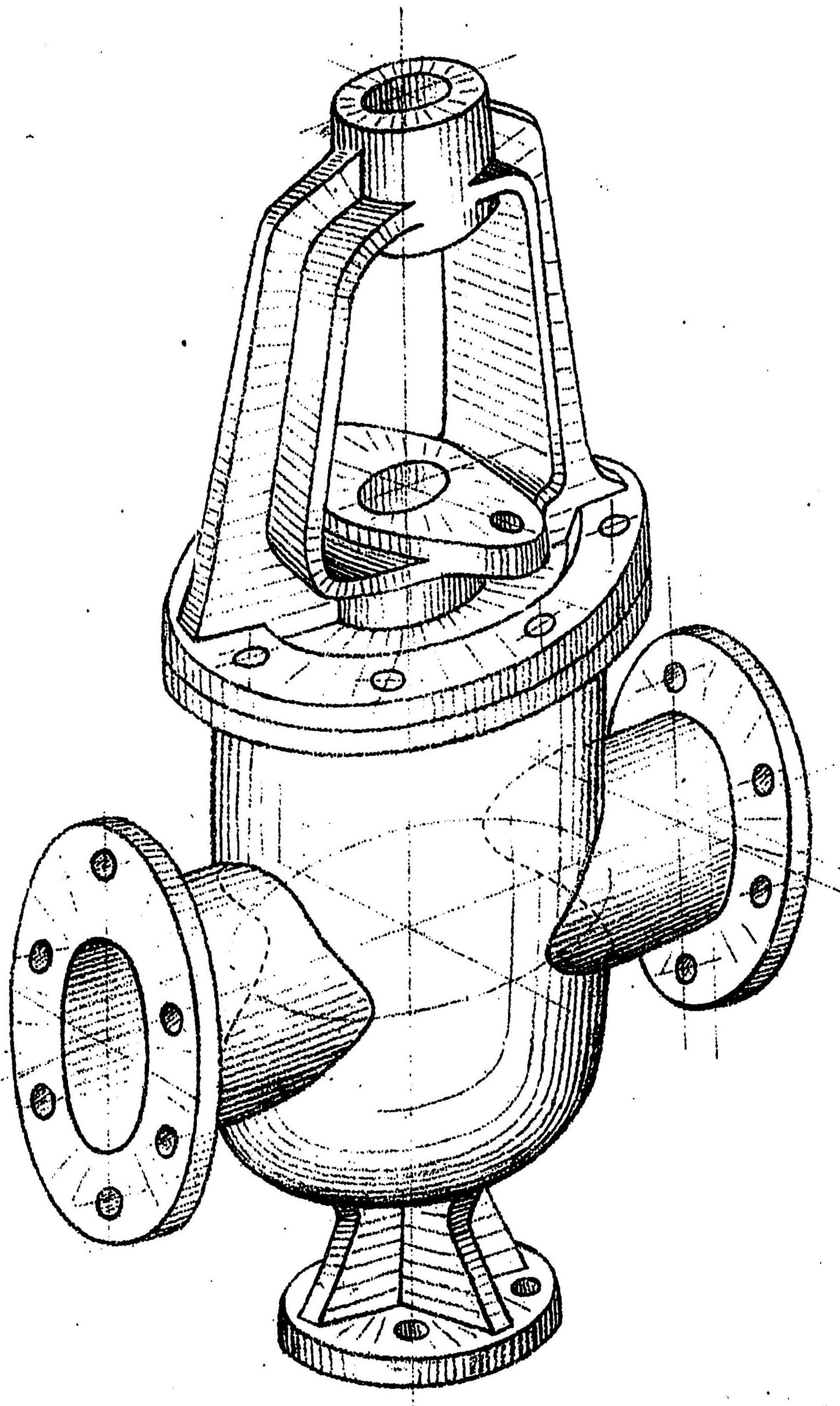


第三十七 蒸汽機関のツガイ棒(金)



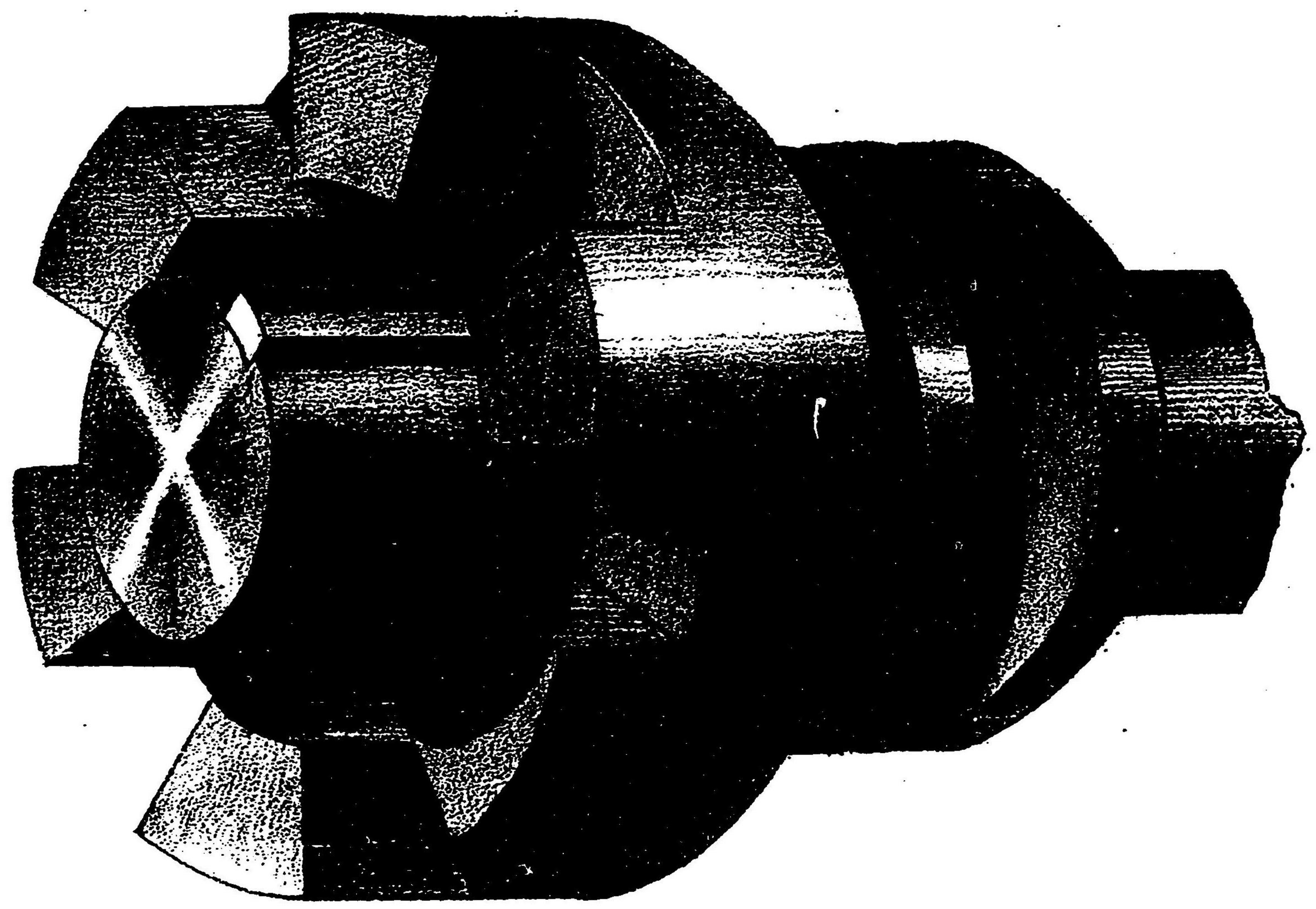


第三十八 止メおるびり (すこつおるびり) (金)

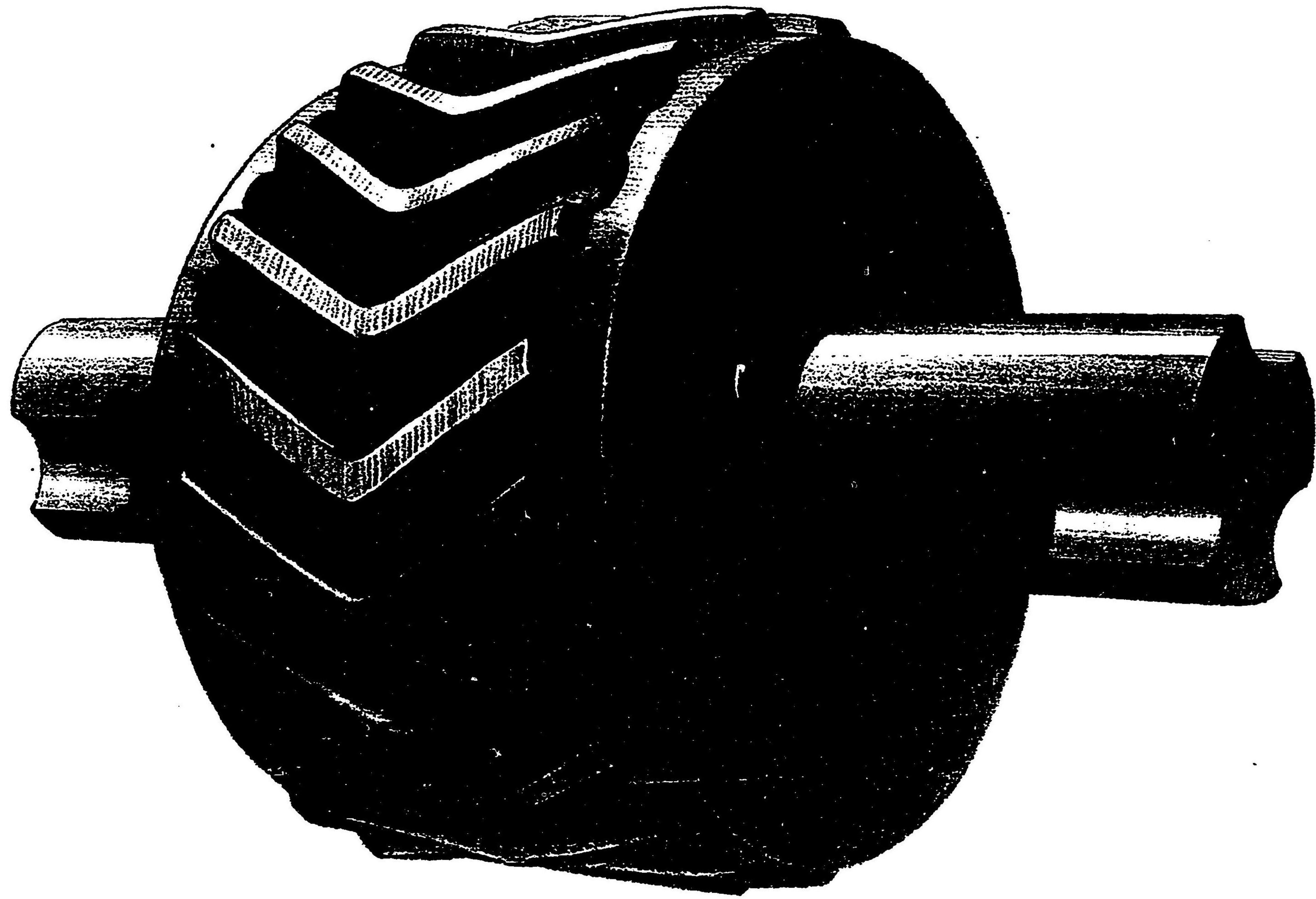




第三十九 凹凸ツガリ(金)







第四十

螺旋齒車ネジハゲルマ

(金)



# 工業學校<sup>金工科 木工科</sup>自在畫教授要目

## 第一 自在畫教授要領及注意

- 一 自在畫ハ實物ヲ正シク描出スル技ヲ練習セシムルト同時ニ形態ヲ精確ニ想像スル力ヲ助長セシムルコトヲ勉メ、將來實地上ニ於テ即畫ヲ要シ、若クハ見取圖ヲ製スルニ臨ミ、不自由ヲ感ゼシメザルコトヲ主眼トス。
- 二 自在畫ヲ授クルニハ最初ハ簡單平易ナル畫ヲ描カシメテ鉛筆ノ運用ヲ練習セシメ、順次進ミテ陰影畫ニ及ボスベシ、金工科ニ在リテハ器具機械等ヲ、木工科ニ在リテハ器具家屋ノ線形其他彫刻等ヲ畫カシムベシ。
- 三 臨畫ハ鉛筆ノ練習ニ止メテ、成ルベク實物若クハ模型ノ見取畫ヲ作ラシムベク、又既ニ熟知セル實物ヲ各自ノ記憶ニ依リテ畫カシムベシ。
- 四 圖畫ハ筆力健全ニシテ運筆自在ナラシメ、各部ノ關係ヲ明瞭ナラシメンガタメ總テ大形ニナスベシ、隨テ圖畫用紙モ亦成ルベク大ナル者ヲ用キルベシ。
- 五 畫題、氏名、記入セル數字、文字、輪廓等ヲ正シクスル習慣ヲ養フベシ。
- 六 鳥獸草木ノ圖畫ハ練習セシメザルモ妨ナシ。

---

## 第二 參考手本

參考手本ハ上記ノ教授要領及注意ノ條項ニ掲ゲタル教授ノ順序及方法ノ例ヲ示サンガタメニ輯メタルモノニシテ、教授上教員生徒ノ參考ニ資シ若クハ鉛筆練習ノ用ニ供スルコトアルベケレドモ模寫スベキモノ、ミト心得ベカラズ。

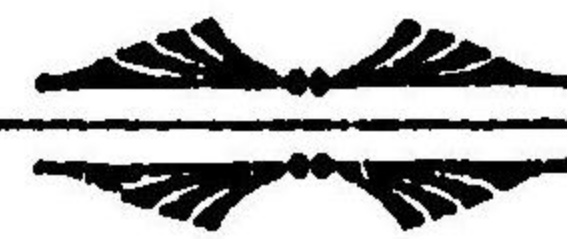


文部省實業學務局編纂  
工業學校機械製圖教授要目

附圖共全貳册

正價金四拾錢

郵稅金八錢



明治三十六年十一月十八日印刷

明治三十六年十一月廿三日發行

(正價金五拾錢)

著作者 文部省

發行兼印刷者 丸善株式會社

東京市日本橋區通三丁目

同代表者

專務取締役 小柳津要人

印刷所 小柴英侍

東京市神田區東松下町十六番地

發行所

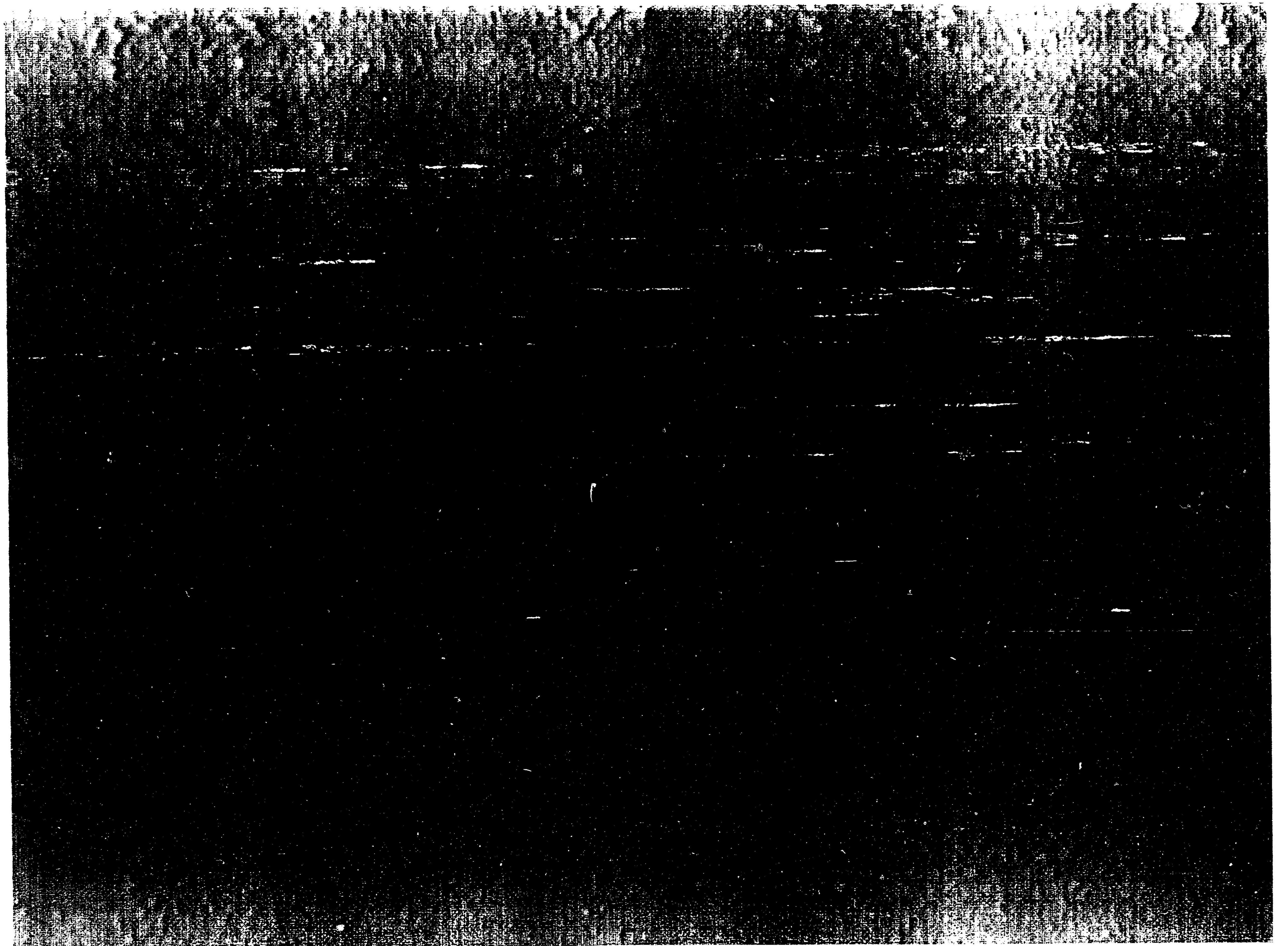
東京市日本橋區  
通三丁目

大阪市心齋橋筋  
大博勞町四丁目

丸善株式會社

丸善株式會社支社







048375-000-6

292-23

工業学校金工科木工科自在圖教授要目

文部省実業学務局／編

M36

BEG-0014





292  
23